

第12回

# 脱炭素 チャレンジカップ 2022

報告書





## 脱炭素チャレンジカップ

近年の気象の激変や災害の頻発などの状況を踏まえ、気候変動対策をより加速化するために、2020年に「低炭素杯」から名称を改め、第3回目となる「脱炭素チャレンジカップ2022」を2022年2月15日に開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、参加者およびスタッフの健康・安全面を考慮して、新たな形として、オンラインと会場でのハイブリッドでの開催となりました。

本大会は、多種多様な団体（学校、企業、自治体、NPOなど）が日々取り組まれている脱炭素社会の構築につながる活動を募集し、最終選考で自身の活動を発表することによって、取組のノウハウや情報を共有・発信し、さらなる連携や意欲を創出することで、豊かな脱炭素社会の未来を創造する「場」となることを目指しています。

「脱炭素チャレンジカップ2022」にエントリーした、286団体（アイデア賞含む）の中から選ばれた28団体がステージ上のプレゼンテーション審査に臨まれ、環境大臣賞や文部科学大臣賞などの各賞を決定いたしました。開催にあたっては本事業に賛同していただいた企業・団体の皆様からのご支援・ご協力をいただきました。

## SDGs達成に向けて貢献



「脱炭素チャレンジカップは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。」

世界で気候変動問題が年々深刻化する中、世界の平均気温の上昇を産業革命前の1.5°C未満に抑え、脱炭素社会を構築することを我々は目指しています。

日本においても脱炭素社会の実現に向けて、社会全体での機運の醸成や効果的な対策への取組を強力に進めていく必要があります。

このような状況の中、「脱炭素チャレンジカップ」では、様々なパートナーと出会う「場」を提供することによって、地域活動の活性化とネットワークの構築が促進され、あらゆる主体の連携が深まり、脱炭素かつ持続可能な地域づくりへの加速化が図られることを期待しています。

### 脱炭素チャレンジカップとSDGs





## 脱炭素チャレンジカップ 2022 挨拶



環境副大臣

大岡 敏孝

本日は「脱炭素チャレンジカップ 2022」の表彰式にあたりまして、環境省を代表して、一言、御挨拶を申し上げます。

まず、各企業、団体からの賞、そして文部科学大臣賞、そして環境大臣賞、各賞を受賞されました皆様、誠におめでとうございます。皆様の日頃の取組がこうした賞に繋がったことだと思います。あわせて、賞をもらう、もらわないに関わらず、今回の取組に参加してくださった皆様全員の取組が多くのCO<sub>2</sub>排出量を減らす、環境を守る活動に繋がっております。このことについて、私からも深く敬意と、そして感謝を申し上げます。皆様本当にありがとうございました。

さて、2050年炭素中立社会の移行に向けては、企業や自治体、国民など、あらゆる主体が取り組むことにより、ライフスタイルを脱炭素型へと転換していくことが最も重要と私どもは考えております。環境省としまして、特に2030年までが人類の正念場、勝負の時との決意で取り組んでまいります。具体例として、2030年までに全国で100カ所以上の脱炭素先行地域を実現し、脱炭素ドミノを実現してまいりたいと思います。

脱炭素社会の構築に取り組む皆様方の活動が、脱炭素の取組の後押しや、私たち一人ひとりの理解促進、暮らしの変革につながってまいります。

参加された皆様には、ここで学ばれた知識をそれぞれの御地元でも共有していただき、広く地域の皆様に脱炭素の自発的な行動を促していただき、脱炭素化の輪を、一段と拡げていってくださいますことを、心よりお願い申し上げます。

結びになりますが、大変御多忙の中、脱炭素化について学びあい、連携の輪を拡げていくための「場」を全国各地にお作りいただいた小宮山（こみやま）先生はじめ実行委員の皆様、審査委員の皆様、御協賛・御協力いただいた全ての企業・団体の皆様、そして、本チャレンジカップを設営していただきましたスタッフの皆様にご心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。そして、改めまして受賞された皆様におかれましては、引き続き、企業や国民の行動変革、そして世界の人たちの行動変革に繋がる取組を引き続き進めていただきますようお願い申し上げます。私からの御挨拶とさせていただきます。



文部科学省総合教育政策局主任教育企画調整官

小松 悌厚

『脱炭素チャレンジカップ 2022』表彰式に当たり一言御挨拶を申し上げます。

各賞を受賞される皆様誠におめでとうございます。また、惜しくも入賞には至らなかった皆様におかれましても、それぞれの地域において素晴らしい取組をされているものと承知しております。皆様の日頃からの御尽力に深く敬意を表します。

令和3年6月2日に地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、2050年までの脱炭素社会の実現、環境・経済・社会の統合的向上、国民を始めとした関係者の密接な連携等を地球温暖化対策を推進する上での基本理念として規定する等、国民の環境等に対する取組への協力や理解が前提であることが示されたところです。まさに、現在地球温暖化防止を始めとする持続可能な社会の構築に向けた活動の必要性は一層高まっております。

文部科学省としましては学校における環境教育の充実や、自然体験をはじめとした様々な体験活動の推進持続可能な開発のための教育であるESDの推進など環境教育の推進に取り組んでいるところです。

この脱炭素チャレンジカップは地球温暖化防止に向けた取組に関する優れた取組や、ノウハウを全国に広げていくとともにプレゼンテーションや資料展示等を通じて互いに学び合うことにより持続可能な社会の構築に繋がる大変素晴らしい取組と考えております。

本日御参加の皆様特に小学校、中学校、高校等の皆様におかれましては、学校や地域における環境教育で学んだ様々な経験や知識を活かし、持続可能な社会の実現に向けて脱炭素地球温暖化防止に、関わる活動に今後もぜひ、積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

結びに脱炭素チャレンジカップ 2022 の開催に御尽力いただきました小宮山実行委員長をはじめとする関係者の皆様にご厚く御礼を申し上げますとともに御参加の皆様方の益々の御健勝と一層の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

## 開催概要

日程	2022 (令和 4) 年 2 月 15 日 (火) 10:00 ~ 17:00
開催方法	ハイブリッド開催 (会場: 伊藤謝恩ホール)
参加料	無料 (事前登録制)
主催	脱炭素チャレンジカップ実行委員会 / 委員長: 小宮山 宏 (株式会社三菱総合研究所 理事長)
共催	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット (以下「全国ネット」) 一般財団法人セブン・イレブン記念財団
特別協賛	ユニチャーム株式会社、株式会社ニトリホールディングス、サラヤ株式会社 一般社団法人日本 WPA、ユタコロジー株式会社、新田セラチン株式会社、レンゴー株式会社、 日本マクドナルド株式会社、(公財) SOMPO 環境財団、株式会社ウエストボックス、チェックフィールド株式会社、 脱炭素化支援株式会社、東部燃焼株式会社、ホテルネットワーク mito 株式会社森久、(有) アルファサービス、 株式会社アクトリー、株式会社 i3experience、北越コーポレーション株式会社、(株) Pure Cycle いばらき、 株式会社ダイフク、株式会社リサイクルパーク、 株式会社エコツー技術研究所、有限会社元クリーン、 水戸ヤクルト販売株式会社、株式会社大丸製作所、 株式会社ジーエスケー茨城、水戸さくらロータリークラブ、 株式会社マツミ・ジャパン
協力	株式会社オルタナ、 特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク、 木原木材店、こどもエコクラブ、ファインモーターズスクール、 キリンホールディングス株式会社、社会福祉法人幸仁会 川本園、 エコドライブ研究所
後援	環境省、文部科学省、プラチナ構想ネットワーク、国連広報センター
事務局	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
視聴者数	延べ 1,600 名



## 委員会のご紹介

## 実行委員会 (順不同、敬称略)

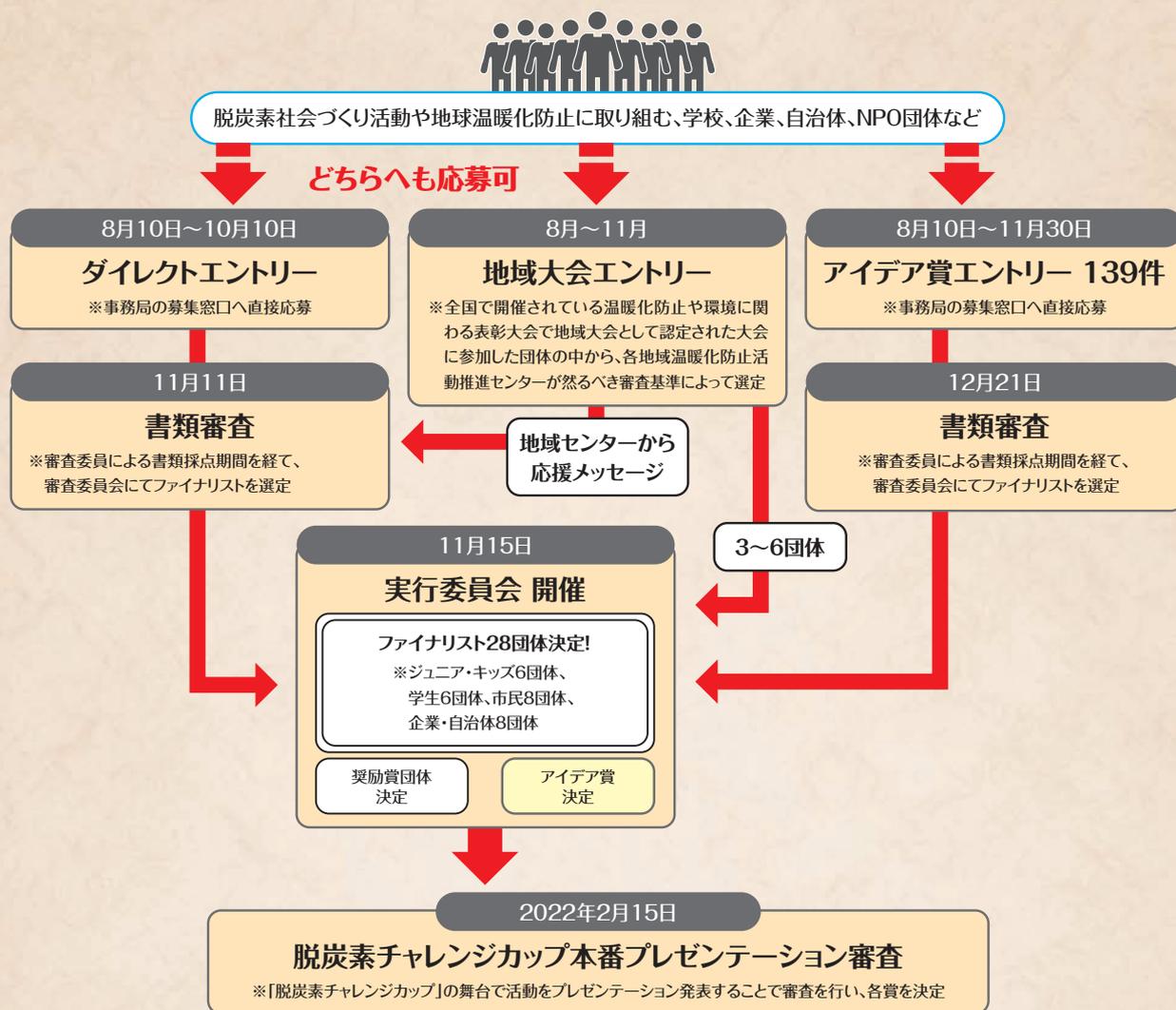
委員長	小宮山 宏	株式会社三菱総合研究所 理事長
副委員長	川北 秀人	IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表
	江守 正多	国立研究開発法人国立環境研究所 地球システム領域 上級首席研究員 / 東京大学未来ビジョン研究センター教授
委員	森永 仁	一般財団法人セブン・イレブン記念財団 事務局長
	高村 ゆかり	東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
	高橋 万見子	朝日新聞社 メディアビジネス担当補佐
	岩山 政史	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ライフスタイル推進室 室長
	高田 研	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長

## 審査委員会 (順不同、敬称略)

委員長	江守 正多	国立研究開発法人国立環境研究所 地球システム領域 上級首席研究員 / 東京大学未来ビジョン研究センター教授
副委員長	尾山 優子	一般社団法人環境パートナーシップ会議 理事 事務局長
委員	松井 敬司	一般財団法人セブン・イレブン記念財団 事務局次長
	桃井 貴子	認定 NPO 法人気候ネットワーク 東京事務所 所長
	岩谷 忠幸	オフィス気象キャスター株式会社 代表取締役
	大庭 徹	ユニ・チャーム株式会社 ESG 本部 ESG 推進部サステナビリティ推進グループ マネージャー代理
	岩谷 博通	株式会社ニトリホールディングス SDGs 推進室 室長
	代島 裕世	サラヤ株式会社 取締役 コミュニケーション本部 本部長
	小川 勇造	一般社団法人日本 WPA 事務局長
	久米 明日樹	ユタコロジー株式会社 総務部 部長
	矢野 琢司	レンゴー株式会社 環境経営推進部 部長
	佐藤 孝治	公益財団法人 SOMPO 環境財団 事務局長
	鈴木 修一郎	株式会社ウエストボックス 代表取締役
	森 撰	株式会社オルタナ 代表取締役 編集長
	南 利幸	特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク 理事長



## エントリー募集から「脱炭素チャレンジカップ 2022」開催までの流れ



## 奨励賞団体とは？

脱炭素チャレンジカップ 2022 では、エントリー団体の中から、ファイナリストに次ぐ優秀な成績を収めた団体に対し、奨励賞を贈呈しています。今年度は、以下の奨励賞受賞 16 団体に対し、2022 年 2 月に表彰状を贈りました。

部門	都道府県	団体名称	取組名
市民部門	千葉県	温暖化防止ながれやま	省エネルギー学習会
	茨城県	econetいばらき地産地消委員会「長方屋」	地域の名産、地域の宝、地域の人と econet
企業・自治体部門	神奈川県	株式会社オオハシ	産業廃棄物である架橋ポリエチレンの資源化と事業化
	富山県	株式会社PROT	戸建性能向上リノベーション実証プロジェクト
	大阪府	近畿エコガラス普及促進地域協議会	脱炭素化を図り、メンテナンス文化の醸成までをやり遂げる。
	東京都	ワタミ株式会社	プラスチック製容器回収リサイクルループで脱炭素社会を目指す
	東京都	パナソニック株式会社	環境にやさしいLED照明器具を省エネ製造工場でもノづくり
	静岡県	株式会社明電舎	環境と社会に貢献!脱SF6遮断器の開発・販売
	愛知県	株式会社WELLNEST HOME	「未来の子どもたちのために」に住環境で世界を変える
	茨城県	笠間工芸の丘株式会社	SDGsと志を紡ぐ企業の試み
	三重県	株式会社ハイアップ	生ごみ・廃プラを炭に!脱炭素社会と循環型社会の実現
	東京都	三菱地所レジデンス株式会社	マンション家計簿
学生部門	長野県	東海大学附属諏訪高等学校	脱炭素のまちづくり実現に向けて
	東京都	学校法人法政大学環境センター	Take the stairs at HOSEI 2021
ジュニア・キッズ部門	東京都	私立大妻中野高等学校	フロンティア、ING
	兵庫県	兵庫教育大学附属中学校	世界にひろがれ緑のカーテン

## ファイナリスト28団体(発表順)

部門	発表順	都道府県	団体名称	取組名
学生部門(8件)	1	東京都	明星大学(経営学部)SDGsポイント事務局	SDGsポイント
	2	東京都	工学院大学附属中学校・高等学校自動車部	ソーラーカーの実用化と自動車の脱炭素化
	3	東京都	国際基督教大学高等学校	ICUHS エコ化計画
	4	京都府	京都府立桂高等学校 京の伝統野菜を守る研究班	地元企業と連携した資源循環と地域活性を目指して
	5	大阪府	大阪府立堺工科大学 定時制の課程	プラスチックゴミとCO <sub>2</sub> の削減 ~捨てればゴミ、活かせば資源~
	6	島根県	出雲西高等学校インターアクトクラブ	出雲発!森林保全プロジェクト
	7	静岡県	静岡県立浜松城北工業高等学校 環境部	「地球にやさしいエンジニア」を目指し共感の輪を拡げる環境活動
	8	宮城県	宮城県農業高等学校 環境保全部	#ZEROマイプラ ~安全な食料生産と豊かな海作り~
ジュニアキッズ部門(5件)	9	福岡県	大牟田市立明治小学校	大牟田素敵タウンプロジェクト 美しいふるさとを未来へ残そう
	10	香川県	三豊市立下高瀬小学校	「もったいない」と「ありがとう」で地球温暖化を防ごう
	11	神奈川県	特定非営利活動法人もあなキッズ自然楽校	エシカルファッションカードゲームの商品開発プロジェクト
	12	栃木県	真岡児童館「やさしクラブ」	子ども自ら考え、行動する気候変動対策
	13	沖縄県	ECO HONU	みんなの海をみんなで守ろう!
企業・自治体部門(8件)	14	埼玉県	ウォータースタンド株式会社	マイボトルで脱炭素「ボトルフリープロジェクト」
	15	沖縄県	一般社団法人沖縄CO <sub>2</sub> 削減推進協議会	脱炭素化に向けての建物ZEB化及び省エネ推進事業
	16	佐賀県	松隈地域づくり株式会社	地域の恵みを未来の力へ
	17	東京都	株式会社クラダシ	社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」
	18	東京都	株式会社竹中工務店	森林ランドサイクルを加速する中高層木造建築と木のまちづくり
	19	茨城県	あんこうばわあ株式会社	「リサイクル&新電力」で見えてきた脱炭素➡「あんこうばわあ」
	20	山形県	東北おひさま発電株式会社	バイオガス発電施設を中心としたリサイクルシステムの確立に向けた取り組み
	21	神奈川県	前田道路株式会社 西関東支店 川崎営業所	まえた TEQ,まえたパークによるグリーンインフラの整備
市民部門(7件)	22	兵庫県	特定非営利活動法人 PVネット兵庫グローバルサービス	自然と共生する都市型小水力発電による脱炭素社会の学び場づくり
	23	東京都	バイオガス出前授業の会	生ごみからエネルギーを作ろう! ~みんなで聖火を灯そう~
	24	神奈川県	横浜市青葉区 堀之内地区まちづくり協議会	気候変動に負けない「い〜稲」の開発プロジェクト
	25	東京都	特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン	フルフル(古着リサイクルプログラム)
	26	愛知県	森と子ども未来会議	学童保育所を協働×伝統構法で木造化!街に森を創るプロジェクト
	27	東京都	公益財団法人Save Earth Foundation	子どもたちの夢を育む「夢ボード」でSDGsを達成する
	28	神奈川県	NPO法人Class for Everyone	移動型ソーラー電源を作る環境教育授業

## 開催プログラム

10:00~10:12

### 開会

- 開会の挨拶  
脱炭素チャレンジカップ実行委員会  
委員長 小宮山 宏
- ファイナリスト紹介
- 審査委員紹介

10:12~13:15

### ファイナリスト28団体による プレゼンテーション発表

発表時間 1団体4分

- 10:12 学生部門 (8団体)
- 11:05 ジュニア・キッズ部門 (5団体)
- 11:40 企業・自治体部門 (8団体)
- 12:33 市民部門 (7団体)

13:45~14:15

### 基調講演

#### 「脱炭素社会にむかう世界 次の世代に引き継ぐ地域づくり」

- 講演者  
高村ゆかりさん  
東京大学 未来ビジョン研究センター 教授

14:00~14:35

### アイデア賞受賞者からの講演

- 講演者  
高畑 雅子さん  
綿貫 雅人さん/鷺田 直哉さん  
(東京学芸大学附属大泉小学校)  
前島 叶和さん  
(東京学芸大学附属大泉小学校)

14:35~15:15

### パネルディスカッション

#### 「脱炭素化は実現できるの?! ～地域での挑戦～」

- ファシリテーター  
川北 秀人 (実行副委員長)
- パネリスト アイデア賞受賞者、過去受賞者ほか

15:45~16:45

### 表彰式・閉会

- 主催者挨拶  
脱炭素チャレンジカップ  
実行副委員長 川北 秀人
- 審査結果発表
- 審査講評  
審査・企業/団体賞選考委員会  
審査委員長 江守 正多
- 閉会の挨拶  
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット  
理事長 高田 研



## ステージプログラム：基調講演（13:45～14:15）

「脱炭素社会にむかう世界  
次の世代に引き継ぐ地域づくり」

高村 ゆかりさん

(東京大学  
未来ビジョン研究センター 教授)

専門は国際法学・環境法学。  
京都大学法学部卒業。  
名古屋大学大学院教授、  
東京大学サステナビリティ学連携研  
究機構 (IR3S) 教授などを経て現職。国際環境条約に関する法的  
問題。気候変動とエネルギーに関する法政策などを主な研究  
テーマとする。



地域の脱炭素化は、地域、住民のいのちと財産を気候変動から守り、よりよい未来の地域でのビジョンが重要であることや、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、地域での課題や取組について、ご講演を頂きました。

こちらのご講演内容は、脱炭素チャレンジカップのYouTubeチャンネルより、ご覧いただけます。



## ステージプログラム：アイデア賞受賞者からの講演（14:15～14:35）

## 「脱炭素化は実現できるのか?!～気候変動に立ち向かうトップランナーたち～」

今大会より、新たにアイデア賞を新設致しました。アイデア賞は、取組の実績は必須ではなく、実施計画中や研究課程でも応募が可能となり、将来的に脱炭素化へ繋がるようなアイデアや提案を応募して頂きました。

今回は、全国から、139件の脱炭素な未来へと、よりよく変えていく創意あふれるアイデアをご応募いただきました。心から感謝申し上げます。

受賞者から、創意あふれたアイデアをご講演いただきました。講演の内容は、YouTubeチャンネルより、ご覧いただけます。

## アイデア賞受賞者

高畑 雅子さん

名称：街なかエネルギーアートコンペ

紹介：風力、太陽光、小水力…

まち中のエネルギーのポテンシャルを活かすコンペを、毎年全国各地を会場に定め開催。高専や企業など様々な団体や個人が、地元自治体や企業、市民の方と交流し、まちなかの利用提供に協力を求め、”再エネアート”を設置し、街を彩る。各都市でのエネルギー自給の潜在力を見える化し、街中でのエネルギー自給の普及促進を図る。



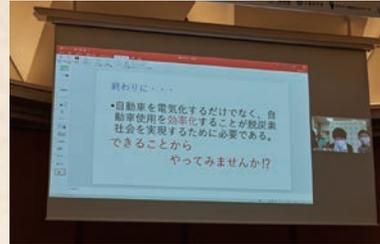


## アイデア受賞者

綿貫 雅人さん／ 鷲田 直哉さん 東京学芸大学附属大泉小学校

名称：都市部での自家用車の廃止

紹介：自動車によるCO<sub>2</sub>の排出が問題になっている。電気自動車に変換するとしても火力発電時にたくさんのCO<sub>2</sub>が排出されるため効果的ではない。よって自動車自体の数を減らす必要がある。特に都市部では公共交通機関が発達しているため、自家用車がなくても生活に困ることが少ない。都市部での自動車使用を少なくする取り組みが進めば、CO<sub>2</sub>が削減できると考えられる。

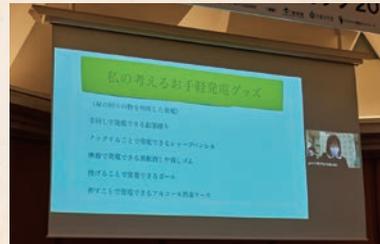


## 審査委員特別アイデア賞

前島 叶和さん 東京学芸大学附属大泉小学校

名称：電力自給のための発電型小学校への計画

紹介：小学校で使う電力は自分たちで作れないの?という疑問から考えた取り組みです。私たちの小学校で使われている電力の自給自足にむけて、今ある技術を調べ積極的に取り入れた小学校を作りたいと思い計画してみました。また、電力について学ぶ中で自分たちで発電グッズなどを作りたいと思います。



## ステージプログラム：パネルディスカッション(14:35～15:45)

### 「脱炭素化は実現できるの?!～地域での挑戦～」

過去の受賞者から現在の活動を紹介して頂いた後に、アイデア受賞者と高村氏も加わり、地域での脱炭素な社会の構築に向けて、話し合いを行いました。YouTube チャンネルより、ご覧いただけます。

#### 【過去受賞者からの講演】



2017大会 環境大臣賞 金賞  
ホテルネットワーク mito 高橋克英さん



2020大会 文部科学大臣賞  
劇団シンデレラ ファンキー健一さん

#### 【パネルディスカッション】



## 脱炭素チャレンジカップ2022表彰式



全ファイナリストのショット

## 表彰盾について

昨年度の大会から、脱炭素チャレンジカップの協力団体でもある障害福祉サービス事業所の川本園に制作して頂きました。埼玉県内の間伐材を活用した見開きの木製盾になります。



ファイナリストによるプレゼンテーション発表後に開催された「審査・企業/団体賞選考委員会(審査委員会)」において、脱炭素チャレンジカップ2022の受賞団体を決定しました。

表彰式では、環境大臣賞グランプリ(1団体)、金賞(各部門から1団体、計4団体)の受賞団体が発表され、大岡敏孝環境副大臣より各受賞団体に賞状が授与されました。

また、文部科学大臣賞(社会活動分野、学生活動分野から各1団体、計2団体)では、小松悌厚文部科学省総合教育政策局主任教育企画調整官より、各受賞団体に賞状が授与されました。

企業/団体賞については、各賞提供のプレゼンターから受賞団体(11団体)へ、審査委員特別賞は尾山審査副委員長から受賞団体(1団体)へ、オーディエンス賞は小宮山実行委員長から受賞団体(2団体)へ賞状等が授与されました。

川本園は、昭和54年開所以来、知的障害を持った人に仕事を提供し、時代の流れにあわせて鬼瓦製造、竹箒や建仁寺垣や割り箸などの竹工加工品の製造に取り組んでいます。

現在は、様々な木工製品を埼玉県産の松・杉を原材料として製品を作っています。「森のめぐみ・しごと」をキャッチフレーズに、障害者の方々が力強く働ける環境作りと、自立に向けた支援をめざしています。





# 脱炭素チャレンジカップ2022受賞者一覧

## 環境大臣賞 グランプリ

おめでとうございます!



松隈地域づくり株式会社

## 環境大臣賞 金賞 学生部門



宮城県農業高等学校  
環境保全部

## 環境大臣賞 金賞 ジュニア・キッズ部門



ECO HONU

## 環境大臣賞 金賞 企業・自治体部門



株式会社竹中工務店

## 環境大臣賞 金賞 市民部門



NPO 法人Class for Everyone

脱炭素チャレンジカップ2022受賞者一覧

文部科学大臣賞 社会活動分野



森と子ども未来会議

文部科学大臣賞 学校活動分野



静岡県立浜松城北工業高等学校 環境部

セブンイレブン記念財団  
最優秀地域活性化賞



京都府立桂高等学校  
京の伝統野菜を守る研究班

ユニチャーム  
最優秀やさしさでえささえる賞



三豊市立下高瀬小学校

ニトリ  
最優秀夢・未来賞



真岡児童館「やさしクラブ」

いのちをつなぐ  
SARAYA賞



出雲西高等学校  
インターアクトクラブ

日本WPA  
最優秀未来へのはばたき賞



公益財団法人  
Save Earth Foundation

ユタコロジー  
最優秀チャレンジ賞



バイオガス出前授業の会

## 脱炭素チャレンジカップ2022受賞者一覧

### レンゴー 最優秀脱炭素未来づくり賞



工学院大学附属中学校・  
高等学校 自動車部

### SOMPO環境財団 最優秀わくわく未来賞



大牟田市立明治小学校

### ウェイトボックス 最優秀CO<sub>2</sub>の見える化賞



一般社団法人  
沖縄 CO<sub>2</sub> 削減推進協議会

### オルタナ 最優秀ストーリー賞



ウォータースタンド株式会社

### 気象キャスターネットワーク 最優秀市民・学校エコ活動賞



国際基督教大学高等学校

### 審査委員特別賞



東北おひさま発電株式会社

### マクドナルドオーディエンス賞



明星大学(経営学部)  
SDGs ポイント事務局



前田道路株式会社  
西関東支店 川崎営業所

おめでとう  
ございます!



### 優秀賞

ファイナリストに選ばれたことを称賛し、実行委員会から以下の皆様へ優秀賞の木製メダルを贈呈いたしました。

- ・大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程
- ・特定非営利活動法人もあなキッズ自然楽校
- ・株式会社クラダシ
- ・あんこうばわ株式会社
- ・特定非営利活動法人 PVネット兵庫グローバルサービス
- ・横浜市青葉区 堀之内地区まちづくり協議会
- ・特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン



## ファイナリスト紹介

企業・自治体部門

環境大臣賞 グランプリ

## 地域の恵みを未来の力へ

## 松隈地域づくり株式会社

〒842-0101 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町松隈65番地

☎0952-52-4444 <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00379886/index.html>

松隈地区は、大正12年に村に電灯を灯すため小水力発電所が建設され約45年間稼働していた歴史がある。先人たちの事例に倣い高齢化に伴う地域課題を自ら解決するため、新たな小水力発電所の建設を目指し話し合いを重ね株式会社を設立。一方佐賀県が九州大学発のベンチャー企業と小水力発電での連携を構築しており、この事業実証に協力する形で売電事業を計画。行政の補助は受けず融資で全額を調達し小水力発電所を建設した。



## 審査コメント

脱炭素へのプロトタイプとして、再生可能エネルギーである地域の小水力を利用した取り組みの見事な成功例になっています。地域の人々が協力する様子も素晴らしいです。小さな地域における持続可能な取組のモデルとして、他の地域に広がっていくことで脱炭素に向けた発展が期待できます。  
審査委員長 江守 正多

## 受賞者コメント

この度はグランプリを頂き有難うございました。佐賀県では高齢化が進む中山間地の小さな集落を流れる用水路の慣行水利権を活用した、産官学による環境に優しい小水力発電所計画が進められるなかで、実証実験の地区に選定頂きました。全戸参加の松隈地域づくり株式会社を設立し、松隈小水力発電所を設置しました。固定買い取り制度により安定した収益が得られるため、持続可能な集落づくりへの話し合いが進んでいます。全国の中山間地の集落に小水力発電所が設置され、持続可能な自立した集落が生まれるとともに若い世代の新しいアイデアが加われば未来に向かって夢を描ける魅力ある地域に変貌できることが可能になります。その先駆けとなれたことを誇りに思います。

## ファイナリスト紹介

学生部門

環境大臣賞 金賞 (学生部門)

#ZERO マイプラ ～安全な食料生産と豊かな海作り～

宮城県農業高等学校 環境保全部

〒981-1242宮城県名取市高館吉田字吉合66  
☎022-384-2511 <https://miyanou.myswan.ed.jp/>



私達は地元閑上の砂浜でゴミ拾いをしていると、至る所に5mm位の丸い透明なものを大量に見つけました。これは水田で使用される緩効性肥料の残骸だったのです。水田肥料は表面にプラスチックでコーティングすることでゆっくりと溶けることができます。最後にはプラスチックの殻だけが残り、水田から川へ流れ、いずれ海に流れます。この殻は海洋汚染に繋がるため私達はその有効利用の研究を開始しました。



### 審査コメント

肥料のマイクロプラスチック対策の取り組みそのものは脱炭素との関連性は間接的ですが、研究内容や波及効果が素晴らしいと思います。また、プレゼンテーションに非常に力がありました。今回の受賞が、多くの次世代の方々にとって取組のヒントになることを期待しています。

審査委員長 江守 正多

### 受賞者コメント

この度は金賞を頂き誠にありがとうございます。私たちの学校は東日本大震災で被災し、先輩の代から被災地復興に関わる活動を行ってきました。今回、発表した内容は被災地のゴミ拾いからスタートしていったものです。海に漂着するプラスチックゴミの中に水田用肥料の残骸が混ざっていたのです。プラスチックを作るためには熱や電気を使用するために必然的に二酸化炭素を多く排出します。その元を絶つことが私達の活動で、本大会で発表した内容です。これが広がれば、全国で取り入れる農家さんが多くなり、環境にも脱炭素にも大きく貢献できると思っています。大会運営側にはコロナ禍に発表のチャンスを頂き感謝しています。ありがとうございました。

## ファイナリスト紹介



ジュニア・キッズ部門

環境大臣賞 金賞(ジュニア・キッズ部門)

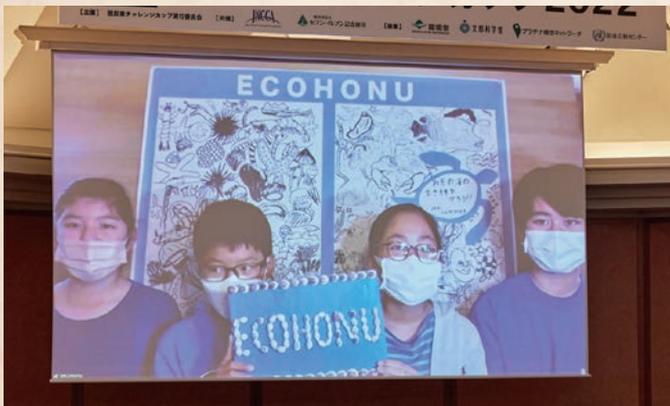
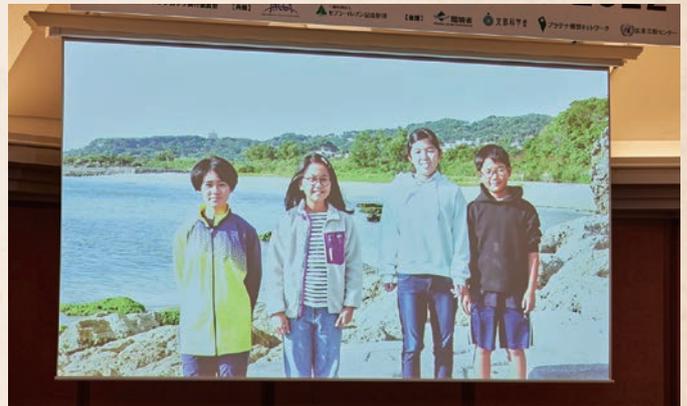
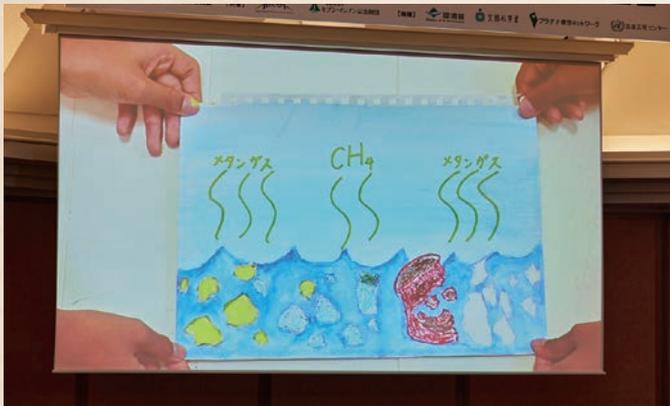
みんなの海をみんなで守ろう!

ECO HONU

〒901-1513 沖縄県南城市知念字知念694



毎週月曜日学校から帰宅後、住んでいる南城市字知念周辺の浜で「みんなの海をみんなで守ろう」をモットーにビーチクリーン活動をしています。拾うだけでなくどんなゴミがどれくらい落ちているのかのデータを集め報告する活動もしています。



## 審査コメント

子供たちが「沖縄の海を守ろう」と自主的に始めた活動だということが素晴らしいと思います。データを記録しているところもすごいです。今回の受賞を契機に、さらに活動が発展することを期待しています。

審査委員長 江守 正多

## 受賞者コメント

今回はすごくいい賞をいただき、ありがとうございました。

ファイナリストに選ばれて動画を作っている時は「こんな手作り感があっていいの」などいろいろ考えました。でも、私たちは私たちがらしくていいなと思いこの動画になりました。本番当日、発表している他のグループを見た時、すごいなと思いました。そして私たち ECO HONU の出番になった時ふるえるほどきんちょうしていました。でも、終わった後はホッと安心していられました。さらに、結果発表の時、いろいろな賞がありました。けれど、私たちのグループ名は出てきませんでした。そんな時急に私たちのグループ名が出てきたのでとてもみんなビックリしてしまいました。それも環境大臣賞です。今回は本当に私たちを選んでくださりありがとうございました。4人という少ない人数での活動でも、日々の積み重ねが認められ、評価されたことは、少ない人数で活動しているグループの励みになると思います。

これからもこの経験を生かして頑張りたいです。

## ファイナリスト紹介

企業・自治体部門

環境大臣賞 金賞 (企業・自治体部門)

### 森林グランドサイクルを加速する中高層木造建築と木のまちづくり

株式会社竹中工務店

〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

☎03-6810-5000 <https://www.takenaka.co.jp/mokuzou-mokushitu/index.html>



「森林グランドサイクル®」を「森林資源と地域経済の持続可能な好循環」と定義し、木のイノベーション、木のまちづくり、森の産業創出、持続可能な森づくりの4つの循環でキノマチを実現する取り組みを、様々なステークホルダーと共に推進している。燃えやすいイメージがある木の柱、梁に耐火性を持たせる木のイノベーションで、まちに中高層の木造建築を可能とし、国内木材需要を高め、持続可能な森林を維持し、脱炭素に貢献する。



#### 審査コメント

鉄やコンクリートを使用したこれまでのビルから、本格的な木造のビルを建築するという取組は素晴らしいです。耐火性の課題を克服することで、建築分野に大きな変化をもたらす可能性があると思います。脱炭素社会の実現に向けて、さらなる発展に期待しています。

審査委員長 江守 正多

#### 受賞者コメント

この度は「脱炭素チャレンジカップ2022」において、「環境大臣賞金賞(企業・自治体部門)」という誠に素晴らしい賞をいただきありがとうございました。

今回の受賞によって、「森林によるCO<sub>2</sub>吸収」と「木造建築による炭素の固定」の二つの効果がある「森林グランドサイクル®」の取り組みを少しでも多くの方に知っていただく機会を得たことを大変嬉しく思います。

竹中工務店は、これからも中高層木造建築を普及させ、持続可能なまちと森のWin-Winな関係づくりを進めていきます。地方公共団体や林業関係者、木の研究者、発注者といったステークホルダーの皆様と共にこの活動に取り組み、木のまちづくりを進め、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

## ファイナリスト紹介



市民部門

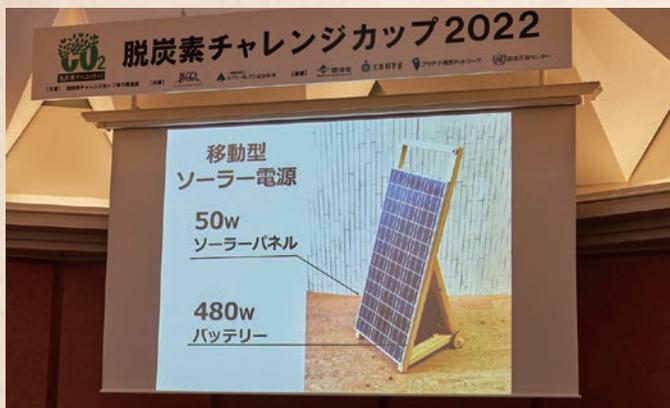
環境大臣賞 金賞 (市民部門)

## 移動型ソーラー電源を作る環境教育授業

## NPO法人Class for Everyone

〒252 -0187 神奈川県相模原市緑区名倉2647-10  
<https://class4every1.jp>

電工ペンチを使って電線を加工し、ソーラーパネル、バッテリー、インバーターといった装置をつなぎ合わせて移動型のソーラー電源システムを自分の手で構築するワークショップを行っています。さらに直流や交流、「 $A \times V = W$ 」といった電気の話、アフリカなど非電化地域の話や世界の電力事情を日常生活の中の電気の話と合わせて聞くことで、普段何も考えずに使っている電気を自分事する最初のきっかけとなる内容になっている。



## 審査コメント

エネルギー教育としてソーラー発電システムを自ら作る体験を提供していることが素晴らしいと思います。また、海外にも取組を展開し、アフリカ等の事情を日本の子どもにも伝えることで、多面的なエネルギーリテラシーを高めています。さらなる発展を期待しています。

審査委員長 江守 正多

## 受賞者コメント

脱炭素社会を実現するためには、私たちが普段どれくらいのエネルギーを使い、二酸化炭素を排出して生活をしているのか具体的な数値として知り、計算できるようになる必要があると考えています。国内外で実施している電気を作るワークショップはそのきっかけ作りであり、非電化地域はじめ世界のエネルギー事情を知るための機会になります。

また、それと同時に江戸時代のように脱炭素社会が成立していた時代の生活から学び直すことも大切だと思います。自分達に本当に必要なエネルギーを改めて考え、みんなが「足るを知る」きっかけを作れるようこれからも尽力していきます。

## ファイナリスト紹介

市民部門

文部科学大臣賞 社会活動分野

### 学童保育所を協働×伝統構法で木造化！ 街に森を創るプロジェクト

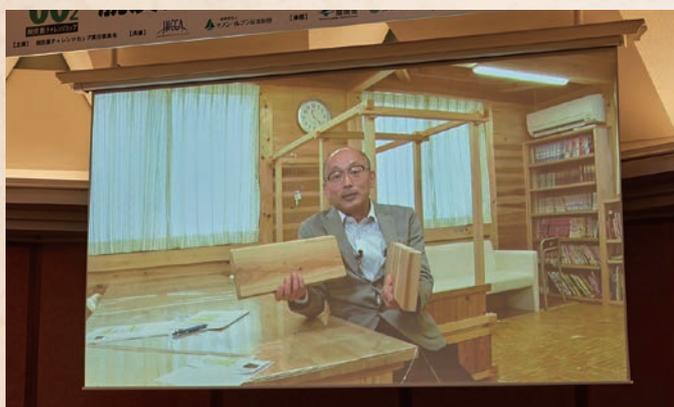
#### 森と子ども未来会議

〒448-0855 愛知県刈谷市大正町1-507

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100068791567094>



都市部の学童保育所はプレハブが多い。音の反響が酷く湿度調節不可、近年の酷暑でエアコンも効かず、年間最大1600時間を過ごす生活空間として良好とは言い難い。このプレハブを日本伝統の板倉構法で地域材を使って建替えるサポートを行い、林業関係者と街の人達の顔の見える関係づくりを推進。多様なメンバーが知恵を出し合い、木こり・製材体験、様々な木育プログラムを実施しながら、子どもも大人も楽しく活動している。



#### 審査コメント

様々な団体が協働し、地域材を使用して学童保育所を建築し、さらに多世代の繋がりがつくりまで取組を発展させていることが素晴らしいと思います。今後の受賞を契機にさらに広がっていくことを期待しています。

審査委員長 江守 正多

#### 受賞者コメント

この度は、文部科学大臣賞（社会活動分野）という素晴らしい賞を戴き誠に有難うございます。私達は子ども達の生活やあそび・学びの場所である学童保育所を、木の香る生き生きとした空間にしたいと願い、地域の保護者と森から街を繋ぐ様々な人達の協働でみんなの夢を実現しようと活動しています。愛知から始まり全国にも広がりがつあります。日本の森から伝統構法で木造化を進める【学童保育所を協働×伝統構法で街に森を創るプロジェクト】は全国どこでも始める事ができます。そして学童保育所を核にして地域の繋がりが豊かな自然と社会を育てゆけるよう、今回の受賞を糧に皆様と共に活動を続けて参ります。これからもご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## ファイナリスト紹介

学生部門

文部科学大臣賞 学校活動分野

## 「地球にやさしいエンジニア」を目指し共感の輪を拡げる環境活動

## 静岡県立浜松城北工業高等学校 環境部

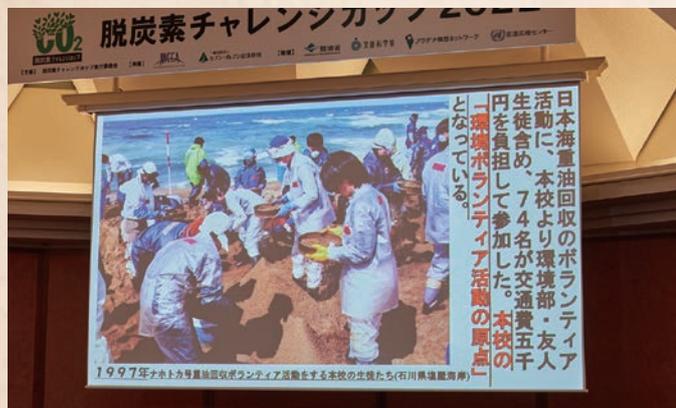
〒433-0906 静岡県浜松市中区住吉5丁目16-1 ☎053-471-8341

<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/hamamatsujohoku-th/home.nsf/>

SearchMainView/A049CE4A4F5F5B574925884D0017F760?OpenDocument



- ①. 「地域の自然を守る環境ボランティア活動」、②. 「地域の森づくり」、③. 「バスによるエコツアー」、④. 「環境先進国をモデルにしたリサイクル活動」⑤. 「城北ジュニア・エコ・クラブ」（延約 4500 名来校）、⑥. 「市民の命を守る防潮堤での森づくり」、⑦. 全国に先駆け国際規格「ISO14001・内部監査員」に挑戦（生徒 1322 名修了証書取得）、⑧. 「STOP 温暖化若者会議」（市内高校4校合同開催）開催



## 審査コメント

生徒が主体となって、「地球にやさしいエンジニア」を合言葉に幅広い取組をおこなっていることが素晴らしいと思います。脱炭素だけに限らず、様々な活動に取り組む生徒の姿勢に感心しました。これからもさらに活動が広がっていくことを期待しています。

審査委員長 江守 正多

## 受賞者コメント

私たちは、1991年より環境教育活動の取り組みを始め、1995年には実践的リーダー育成を目指す「環境クラブ」（現在の「環境部」）を創設、「地球にやさしいエンジニア」を目指し自然や環境に配慮した“ものづくり”と“環境ボランティア活動”を中心に、部員自らの行動を通してクラスの友人、家族、地域の人々に、「共感の輪」を拡げて参りました。

「脱炭素チャレンジカップ2022」では、環境活動に取り組む私たちの「発表の場」、「顕彰の場」を設けて下さり、大会関係者の皆様、審査員の皆様、そして応援を下さいました皆様に、心より感謝申し上げます。また、「文部科学大臣賞」という素晴らしい賞を、受賞することができました。環境部員一同、立派な賞に恥じないよう、さらなる努力をして参りたいと思います。本当にありがとうございました。

## ファイナリスト紹介

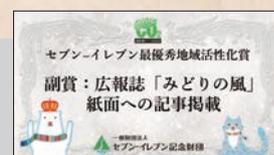
学生部門

## セブン-イレブン記念財団 最優秀地域活性化賞

### 地元企業と連携した資源循環と地域活性を目指して

#### 京都府立桂高等学校 京の伝統野菜を守る研究班

〒615-8102 京都府京都市西京区川島松ノ木本町27  
☎075-391-2151 <http://www.kyoto-be.ne.jp/katsura-hs/mt/>



今回の取り組みは、地域を巻き込んでの資源循環を目標としています。地元企業である山田製油では、ごま油を精油しています。その際排出されるゴマの搾りかすを肥料として利用し、京の伝統野菜を栽培しています。収穫物を山田製油に提供することで、地域の資源循環に向けて活動を行っています。最近では、コロナ禍でも対応できるオンライン販売を試験的に実施し、アンケートをとり需要の確認・情報発信をしています。



#### 審査コメント

伝統野菜を応援し、守り、絶やさないように活動することは生物多様性の観点でも将来の次世代に繋ぐ素晴らしい取組です。又、栽培に使用する肥料は、ゴマ油を生成する際に大量に排出されるゴマの搾りかすである「油かす」を使い、作った野菜はコロナ禍においてオンライン販売やブログなどで情報発信し、広く認知してもらう活動も積極的にされていらっしゃいました。まさに、皆さんの取組は環境省の提唱する「地域循環型共生圏」であり、地産地消で人・もの・お金・思いを循環させ、強い地域づくりに貢献していると思います。伝統野菜を通じ、地元を大切にしている取組であることを評価させていただきました。

一般財団法人セブン・イレブン記念財団 事務局次長 松井 敬司

#### 受賞者コメント

この度は、「セブン・イレブン記念財団最優秀地域活性化賞」に選出いただきありがとうございました。地域を盛り上げながら、継続的に産業を続けていくことが私たちの目標なので、そこを評価していただいたことは大変うれしく思っています。他の団体の発表の中でもフィールドが違ったとしても、脱炭素実現に向けて取り組んでいる姿は、私たちの励みになり、離れていても「仲間がいる」という気持ちが生まれ、刺激をもらえました。今後も地域を巻き込みながら地元から全国、そして世界へ発信できる活動にしたいと考えています。

## ファイナリスト紹介

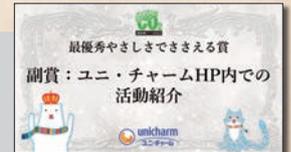


## ユニ・チャーム最優秀やさしさでささえる賞

## 「もったいない」と「ありがとう」で地球温暖化を防ごう

## 三豊市立下高瀬小学校

〒767-0032 香川県三豊市三野町下高瀬760番地1  
☎0875-72-5401 <http://edu.city.mitoyo.lg.jp/shimotakase/>



4年生が地球温暖化防止のための省エネ活動を実践した取組です。この取組は、4年生が、専門機関と連携しながら、自分たちにできることを考え、実践し、発信する活動です。4年生の発信から全校生に活動が広がり、全校生で省エネ活動に取り組んでいます。また、学習発表会などの機会を活かし、家庭にも省エネが広がるよう活動成果を発信し、省エネ活動の広がりを進めています。



## 審査コメント

三豊市立下高瀬小学校では、「電気を使わないときはコンセントからプラグを抜く」「照明をこまめに消す」「ごみを減らし環境への負荷を減らす」など、自分達にできることをまとめた「もったいない憲法」を作成し、省エネ活動に取り組んでいます。また、この活動に共感し「ありがとう」のメッセージで応えることによって、さらなる活動を促す工夫がなされています。「もったいない」精神での省エネ活動に留まらず、「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えることで脱炭素社会実現に向けた協力の輪（和）を広げようという取り組みは、当社のコーポレート・スローガン「やさしさをつくる、やさしさでささえる。」とも親和性が高く、「最優秀やさしさでささえる賞」にふさわしいと判断し、選出しました。

ユニ・チャーム株式会社 ESG 本部 ESG 推進部サステナビリティ推進グループ マネージャー代理 大庭 徹

## 受賞者コメント

この度は、「ユニ・チャーム最優秀やさしさでささえる賞」に選出いただき、感謝いたします。ありがとうございました。子どもたちの取組を評価いただき、更にとり組を発展させていく意欲も高まっています。本校の取組は、子どもたちの発想をもとに主体的に地球温暖化防止のための省エネを校内に、家庭に、地域に広げていく活動です。その過程で、自分たちの生活を支えている人や物に「ありがとう」と「もったいない」の気持ちを育んでいます。ファイナリストの皆様の素晴らしい取組から学んだことをもとに、今後も全校生で自分たちにできる脱炭素への取組を広げていきます。

## ファイナリスト紹介

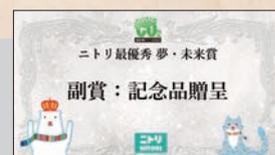


### ニトリ最優秀夢・未来賞

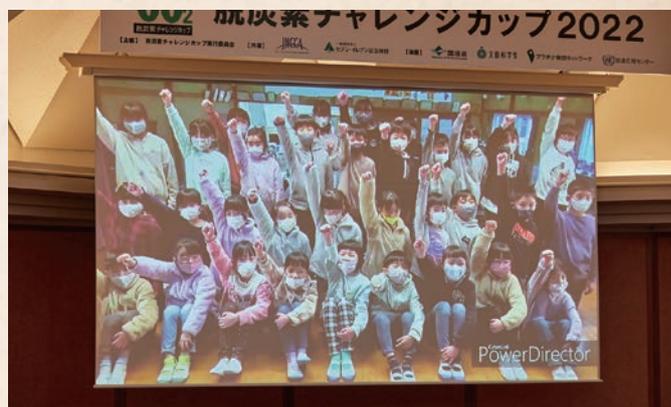
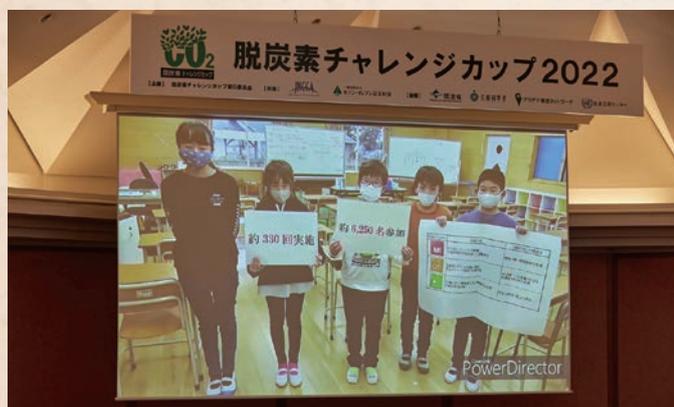
#### 子ども自ら考え、行動する気候変動対策

##### 真岡児童館「やさしくラブ」

〒321-4334 栃木県真岡市八木岡253番地2  
☎0285-80-6980 <http://jidoukan.isoyama-ainosato.ed.jp/>



地域の脱炭素促進や気候変動対策を行うため、以下の6つの活動を柱に取組んでいる。①磯山での環境美化及び森林保全活動【約25,600名参加】 ②エコミーティングの開催【約330回実施】 ③磯山宿泊体験【約3,050kgのごみ収集】 ④夏祭りでの3R活動・寄付【987,330円寄付】 ⑤エコキャップ回収・古着支援【途上国へのワクチン寄付】 ⑥壁新聞の作成を通じた調査研究【17年間作成】



#### 審査コメント

生徒の皆様が、脱炭素化促進・気候変動対策のために自ら考え行動し、卒業生や地域住民の方とともに活動の幅を広げている取り組みは、夢や希望に満ちた輝かしい未来をみんなで築いていきたい、という思いを込めたニトリ最優秀夢・未来賞に相応しいと考え選出させていただきました。また、上級生の取り組みが下級生にも引き継がれ持続的に活動していくすばらしい取り組みだと感じております。これからも脱炭素化促進・気候変動対策の重要性を引き継いでいかれ、未来につながる活動へと拡がっていくことを楽しみにしています。

株式会社ニトリホールディングス 代表取締役社長 白井 俊之

#### 受賞者コメント

この度は、ニトリ様から最優秀夢・未来賞をいただき、誠にありがとうございます。初めて参加させていただき、こんな素敵な賞を頂くことができ、とてもうれしく思っております。私たちの「児童館ショップ」や磯山自然教育園での活動は、先輩達から受け継いだものがほとんどです。これらの活動を私たちは今まで楽しみながら当たり前のように活動してきましたが、今回の受賞を受け卒業した先輩達や地域の方々にも、感謝の気持ちを忘れず、これからもエコ活動を頑張っていきたいと思えました。私たちの「エコのバトン」を後輩達に繋げていけるよう、みんなで地球の未来の為に自分たちのできることを続けていきたいと思います。

## ファイナリスト紹介

学生部門

いのちをつなぐSARAYA賞

## 出雲発! 森林保全プロジェクト

## 出雲西高等学校インターアクトクラブ

〒693-0032 島根県出雲市下古志町1163番地  
☎0853-21-1183 <https://www.izumonishikou.jp/club/255>

出雲西高等学校インターアクトクラブは、海岸清掃を5か所、43年間行ってきた。環境問題を考えていくと、海をきれいにするには川を、川をきれいにするには森をということで森林再生に行きついた。現在、脱炭素化社会を構築するためには、森林再生が重要であり、NPO法人もりふれ倶楽部の方達と共に、植林、間伐、枝打ちなどを行い、島根県内5か所の森の再生をし、脱炭素化社会を目指したい。



## 審査コメント

多くの変化が訪れている現在、われわれは変化に対してスピード早く対応し、この変化を乗り越えていかねばなりません。しかしどの方向に時代が向かうかは、専門家でもなかなか予測が付きません。このような時代には、多様な手法を準備し、そして集中する機動性、機敏性が大切です。ピーター・ドラッカーの言葉にもあるように、変化を知り、変化に対応し、変化をチャンスとして捉えていき、今後もどんどん新たなチャレンジが生まれることを期待しています。

サラヤ株式会社 取締役 コミュニケーション本部 本部長 代島 裕世

## 受賞者コメント

この度は、サラヤ賞をいただき、誠にありがとうございます。私たちインターアクトクラブは、海岸清掃43年間という実績を持ち、ゴミの多い韓国の生徒との交流でゴミを少なくする行動を起こしてきました。また、海を美しくするには、川を、そして最終的にいきついたのは、森林でした。森は、「海の恋人」と言われるように、島根県の森林、7か所の植林、枝打ち、間伐、下刈などを行いました。「切って、使って、植えて、育てる」とい循環型林業の重要性に気づきました。森林は二酸化炭素を吸収し、健全な森は災害から私達を守ってくれます。そして、美味しい水を作ってくれます。賞を受けたことを励みに、さらに森林保全活動に努力したいと思います。

## ファイナリスト紹介



市民部門

### 日本WPA最優秀未来へのはばたき賞

## 子どもたちの夢を育む「夢ボード」でSDG sを達成する

### 公益財団法人Save Earth Foundation

〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3

☎03-5737-2744 <https://save-earth.or.jp/>



今回開発した「夢ボード」は、森林再生活動を通じて得られる国産材を活用したグリーン製品です。学校机に使用するデスクカバーとして教室の木質化、グリーン購入を後押しします。環境について学ぶための教材としてだけでなく、裏には自分の夢を記入し、日々夢を意識出来ることが特徴です。卒業時には、盾に加工され、記念品に生まれ変わります。長く大事に使用することで、CO<sub>2</sub>の固定にも繋がります。



#### 審査コメント

森林再生活動を通じて得られる国産材を活用し、学校机のデスクカバーとして使用するユニークな取り組みは、自然資源の有効利用、持続可能な循環型社会づくり、そして脱炭素社会の実現に寄与する素晴らしい活動で、今後とも支援をしていきたい。

さらには、環境を学ぶ教材としてボードの裏には自分の夢を記入し、卒業時には夢ボードが盾に加工されて卒業記念品となり、長く大事に使用されることでCO<sub>2</sub>の削減活動への意識づけに繋がる取り組みにもなっており、この取り組みが、年度を超えて今後とも引き継がれていくとともに、全国的な広がりに発展することを期待しています。

一般社団法人日本WPA 事務局長 小川 勇造

#### 受賞者コメント

この度は、発表の機会をいただきまして、本当にありがとうございました。協賛企業様はじめ審査員の皆様から評価いただけましたこと、大変光栄に思っています。SEFでは、これからも、森林のCO<sub>2</sub>吸収能力と固定能力に着目しつつ、この「夢ボードプロジェクト」を通して、子どもたちに夢のチカラ、木の温もり、モノを大切に使うこと、自然との共生について、考えたり、感じたりするきっかけを提供していきます。ご協力いただきました、郁文館夢学園の先生方、千葉県山武市の職員様、千葉県森林組合の皆様、榎戸材木店の皆様、心より御礼申し上げます。

## ファイナリスト紹介

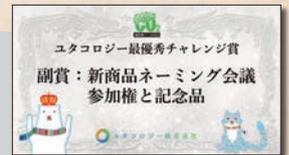


市民部門

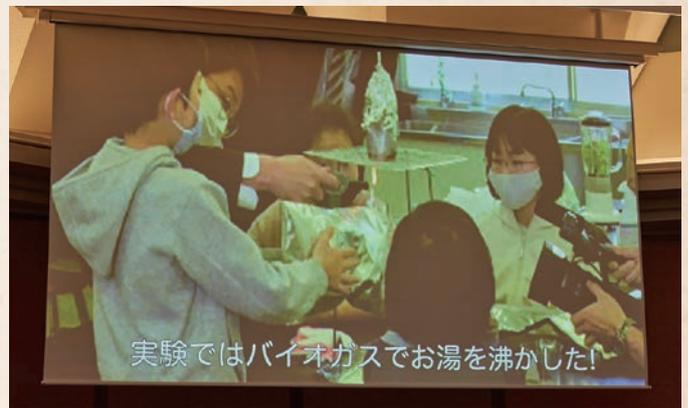
## ユタコロジー最優秀チャレンジ賞

## 生ごみからエネルギーを作ろう!～みんなで聖火を灯そう～

## バイオガス出前授業の会

〒145-0065 東京都大田区東雪谷1-12-4  
☎03-3720-8862 <https://baiogasudemaejugyou.jp/>

①. 「生ごみからエネルギーをつくろう!～みんなで聖火を灯そう～」という オリンピック・パラリンピック教育の出前授業の実施  
この取り組みで宮城県がパラリンピックの聖火の燃料としてバイオガスを世界で初めて採用しました。②. バイオガスを使ってお湯を沸かし、お茶やコーヒーの試飲、明りの点灯を体験するイベント(エネカフェメタン)③. 家庭用メタン発酵装置の開発と普及。  
廃棄物資源循環学会で報告



## 審査コメント

「最優秀チャレンジ賞」では、脱炭素を達成するための持続可能な仕組み創りにチャレンジしているかという点に注目して選考しました。東北大学大学院多田准教授の出前授業に参加した小学生が大きな影響を受け、自身が主役となり、様々な大人たちを巻き込みながら更に大きな目標に向けチャレンジされていることは大変素晴らしいと思います。再生可能エネルギーである「バイオガス」に関する理解を深める活動が、確実に次の世代へ広く繋がっている点を高く評価しました。今後もより多くの人を巻き込みながら、脱炭素に挑戦する人材の育成が連鎖していくことを期待しております。

ユタコロジー株式会社 総務部長 久米 明日樹

## 受賞者コメント

この度は、ユタコロジー最優秀チャレンジ賞をいただき、ありがとうございます。私たちの活動は東日本大震災を機に、災害にも対応できる力を子供らに伝えたいという思いから始まりました。生ごみでエネルギーをつくり、液肥で野菜生産する循環の暮らしを、実験をしながら伝えてきました。この活動中、本当に多くの方のご支援と、たくさんの子供たちに出会うことができ、私たち自身も元気をもらってきました。今回、動画ナレーションをしてくれた生徒さんは小学3年から中学1年まで、この活動に関わっています。今後も、子供らによる自発的活動が広がって、未来の持続可能な暮らしの実現につながることを願っています。ありがとうございます。

## ファイナリスト紹介

学生部門

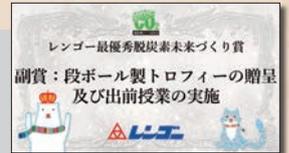
### レンゴー最優秀脱炭素未来づくり賞

#### ソーラーカーの実用化と自動車の脱炭素化

##### 工学院大学附属中学校・高等学校自動車部

〒192-8622 東京都八王子市中野町2647-2

☎042-628-4925 <https://twitter.com/kogakuincarclub>



私たちは昨年から学校の部活動として高校生でソーラーカーを製作する取組を始めました。1Lのガソリンで何キロ走行するかというエコランカー製作から学んだエコについての知識をもとにソーラーカーの製作に日々励んでいます。(2021 鈴鹿ソーラーカーレース出場5時間完走 12位) 将来の電気自動車を創造して、エネルギーを有効利用する研究者やエンジニアの人材育成に結び付け、100年後の社会に貢献したいと考えています。



#### 審査コメント

移動手段の一つである自動車は、ガソリンを消費しCO<sub>2</sub>を排出するものが主流となっています。電気自動車への移行も進んでいますが、脱炭素化を実現するためには再エネ電力の調達が必要不可欠です。「ソーラーカー」は、移動の手段を脱炭素へ転換することができ、まさしく脱炭素の未来をつくるために不可欠な活動であると感じ、「レンゴー最優秀脱炭素未来づくり賞」に選出させていただきました。

2021年には、チームで製作されたソーラーカーで「鈴鹿ソーラーカーレース」の5時間耐久レースに出場し、見事完走を果たす素晴らしい成果を上げられました。また、電気自動車やソーラーカー開発などの将来を担う人材の育成も目標に掲げられている点も評価致します。

レンゴー株式会社 環境経営推進部 部長 矢野 琢司

#### 受賞者コメント

今回、「レンゴー最優秀脱炭素未来づくり賞」を受賞しました工学院大学附属中学・高等学校自動車部です。まず私たちの取り組みであるソーラーカーの実用化と自動車の脱炭素化という取り組みが多くの皆さんに伝えることができたこと、とても嬉しく思います。ファイナリストとして選んでいただけてから私たちなりに試行錯誤をしながら動画作成をしてきました。動画を作成しながら私たち部員全員が改めて自動車部としてどのように脱炭素化を進めていくことができるのかという考え直すきっかけにもなりました。最後になりますが今回とても素晴らしい賞を受賞する事ができ自動車部一同、嬉しく思います。また協力していただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

## ファイナリスト紹介

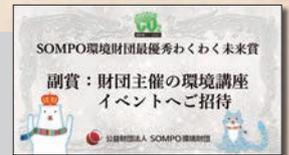


SOMPO環境財団 最優秀わくわく未来賞

## 大牟田素敵タウンプロジェクト美しいふるさとを未来へ残そう

## 大牟田市立明治小学校

〒836-0012 福岡県大牟田市明治町2丁目21番地1  
 ☎0944-53-6017 <http://e-net21.city.fukuoka.jp/meiji-es/>



SDGsの項目7、項目11の達成に向け、エネルギーや自然・環境への関心を深め、「省エネ・省資源」「自然・環境の保持・美化」を実践できる児童を育成するために、各学年の発達段階に応じて様々な取り組みを行っている。「緑のカーテンづくり」「ソーラーッキング」「5校合同川プロジェクト」等、体験的な活動を通すことで、自分事としてエネルギー環境について課題をとらえ、問題を解決する子供たちの姿が見られる。



## 審査コメント

SOMPO環境財団では「最優秀わくわく未来賞」という名称で、未来の地球環境を守る人材の育成を応援しています。大牟田市立明治小学校の「大牟田素敵タウンプロジェクト・美しいふるさとを未来へ残そう」は、学校全体で取り組む環境保全活動。学年ごとにテーマを決めて、緑のカーテン作り、ソーラーッキング、川を守る活動等、体験的な活動を通してエネルギー環境課題を学ぶ素晴らしい取り組みです。素敵な街と明るい未来作りにつながる環境教育の更なる発展も期待しています。

公益財団法人 SOMPO 環境財団 事務局長 佐藤 孝治

## 受賞者コメント

この度は、「SOMPO環境財団最優秀わくわく未来賞」をいただき、誠にありがとうございました。本校では、全学年の児童がそれぞれの発達段階に応じた脱炭素の取組を行い、学びを深めています。本年度はコロナで十分な交流や発表の活動ができませんでした。zoomで他の学校と調べたことを交流したり、学んだことをまとめた掲示物を地域の公民館に貼ってもらったりと、工夫しながら活動に取り組むことができました。今回の受賞で、この取組について高く評価して頂き、大変光栄に感じております。今後も、脱炭素社会について考え、学ぶ喜びを味わう子供を育てていけるよう精進してまいります。

## ファイナリスト紹介



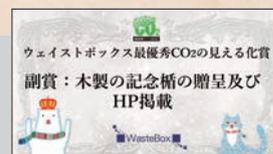
市民部門

### ウェイトボックス 最優秀CO<sub>2</sub>の見える化賞

## 脱炭素化に向けての建物 ZEB 化及び省エネ推進事業

### 一般社団法人沖縄CO<sub>2</sub>削減推進協議会

〒900-0037 沖縄県那覇市辻3-1-40  
☎098-988-6301 <http://www.nonrisk.co.jp/>



当協議会では、自治体や企業に対し CO<sub>2</sub> 削減に向け省エネルギーに関する普及啓発、教育、コンサルティング事業を行っています。また、個人宅等の屋根をお借りし太陽光発電システムを設置し、クリーンなエネルギーを創出し地球環境を守る事業を行い、脱炭素化に向けて団体単位と個人単位で地域の環境を保全する取組を行い、最終的な目標としての脱炭素化社会を構築する取組を行っています。



#### 審査コメント

脱炭素の取り組みを推進するためには、まずひとりひとりがしっかり関心を持ち、現状の排出量を知るところからがスタートとなります。CO<sub>2</sub> 削減に向け、省エネに関する啓発活動や、実際に事業展開をされていることは素晴らしい取り組みです。2050 年までのカーボン・ニュートラル達成に向けて自治体や企業がその動きを加速している中で、建物 ZEB 化は重要な取り組みであり、補助金活用提案も行いながら、より多くの方が脱炭素の取り組みに参加できるような活動を期待しています。

株式会社ウェイトボックス 代表取締役 鈴木 修一郎

#### 受賞者コメント

この度は、名誉ある素敵な賞に選んで頂き、誠にありがとうございます。受賞を契機に、脱炭素に向けた社会貢献に励む所存でございます。当協議会では、今後も取組内容の通り自治体と民間企業に向けた建築物 ZEB 化と省エネ推進事業等を行い、沖縄での脱炭素削減のトップランナーとして協議会目標の支援事業所合計で CO<sub>2</sub> 削減量 1 万 t に向けに尽力致します。また、一般家庭で出来る脱炭素取組「省エネ沖縄版」の普及推進にも努め、持続可能な社会を目指します。2050 年カーボンニュートラルに向け、これまで以上に新規事業や取組提案を試み、沖縄県から全国に情報発信していきます。豊かな自然環境を守るため当協議会の活躍にご期待ください。

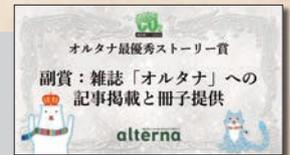
## ファイナリスト紹介

企業・自治体部門

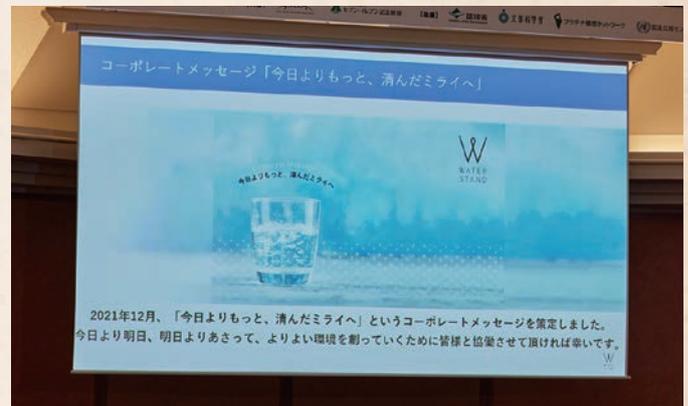
## オルタナ最優秀ストーリー賞

## マイボトルで脱炭素「ボトルフリープロジェクト」

## ウォータースタンド株式会社

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-463  
☎048-657-6731 <https://waterstand.co.jp/bottlefreeproject/>

当社は水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」から「マイボトル」への給水呼び掛け、国内で1年間に出荷されている使い捨てプラスチックボトル約250億本のうち30億本の削減を目指す「ボトルフリープロジェクト」を2018年に開始しました。当プロジェクトは使い捨てプラスチックボトル削減を目的とし、地方公共団体、企業、学校など多様なステークホルダーと連携を図っています。



## 審査コメント

私たちはふだん、海外から輸入したミネラルウォーターを当然のように飲んでいますが、ペットボトルを作るためには原油由来の原料が必要で、何千キロもの距離を運ぶための化石燃料も費やします。ウォータースタンド株式会社の事業は、「マイボトル」を推進するだけでなく、安価で安全な日本の水道水を有効利用するもので、大変な意義があると思いました。

株式会社オルタナ 代表取締役 編集長 森 摂

## 受賞者コメント

この度は脱炭素チャレンジカップ2022へ出場させて頂き、「オルタナ最優秀ストーリー賞」という荣誉ある賞を授与頂きありがとうございました。弊社の活動は、誰もがすぐに取り組むことができるマイボトルに給水する、という行動に落とし込んでいる点をご評価頂けたのではないかと思います。オルタナの編集長、森様より「日本はこれだけ水が豊富な国なのに、なぜわざわざペットボトルに入れて欧州からはるばる輸入しているのか」とのコメントを頂き、弊社の活動が多くの方にとって、社会課題に自分ごととして取り組む「はじめの一步」になれるよう、今後も活動を継続・拡大・深化し更に尽力して参りたいと思いを新たにしました。

## ファイナリスト紹介

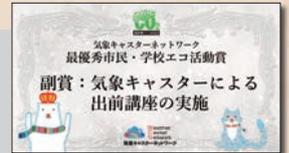
学生部門

気象キャスターネットワーク 最優秀市民・学校エコ活動賞

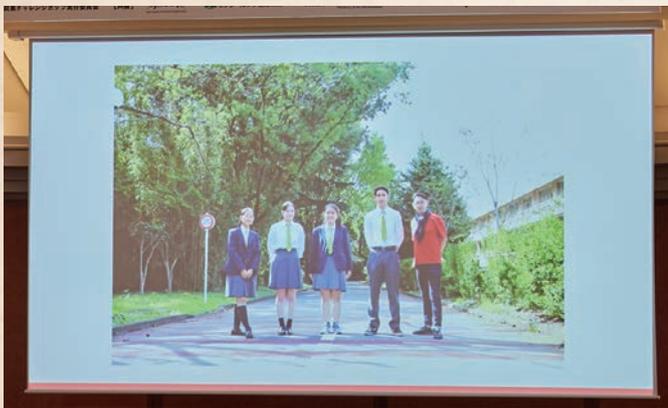
### ICUHS エコ化計画

#### 国際基督教大学高等学校

〒184-8503 東京都小金井市東町1-1-1  
☎0422-33-3401 <https://icu-h.ed.jp/>



脱炭素とプラスチック製品・プラスチックゴミ問題は密接に関係しています。私たちは学校説明会で配布されるオリジナルノベルティグッズがプラスチック製であることに気がつき、それをより環境に良いものに変えようとのプロジェクトを立ち上げました。「安易に作り、配られ、捨てられていくプラスチック製品を減らす」ことを目指しています。この活動を通じて、脱炭素や環境問題の改善に高校生の先陣を切って貢献していきます。



#### 審査コメント

学校のオリジナルグッズのエコ化という着目点が秀逸で素晴らしいです。入学を志望する次世代の生徒さんたちにも、脱炭素を目指す意識・行動が、きっと受け継がれて広がっていくと思います。活動がさらに発展していくポテンシャルも非常に高いと感じました。

特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク 理事長 南 利幸

#### 受賞者コメント

この度は、最優秀市民・学校エコ活動賞という素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。私たちはこれまで、環境問題における「無関心」に向き合い、それをどう解決していくか、さまざまなアイデアを出し合い、プロジェクトを進めてきました。「小さなことでも、今自分たちができることを」と日々試行錯誤しながら努力を重ねてきたので、今回、このような形で私たちの活動を認めていただいたこと、本当にうれしく思っております。ノベルティグッズを使うとき、プラスチックに触れるとき、誰かの心の中に、ふと「脱炭素」という言葉が浮かぶような、少しでも関心を呼び起こせるような活動を、これからもひとつひとつ前に進めていきたいと思っております。

## ファイナリスト紹介

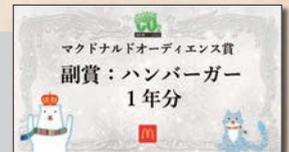
学生部門

マクドナルドオーディエンス賞

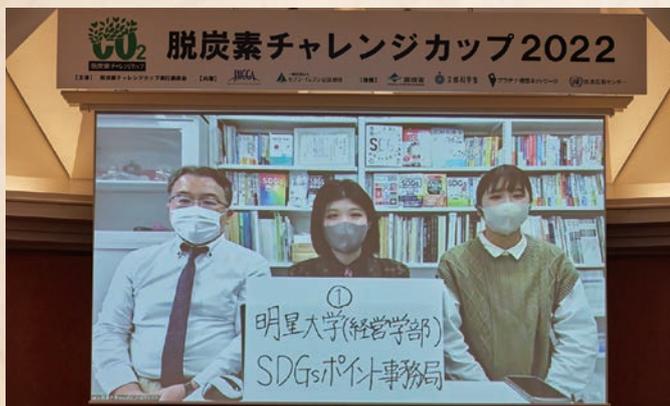
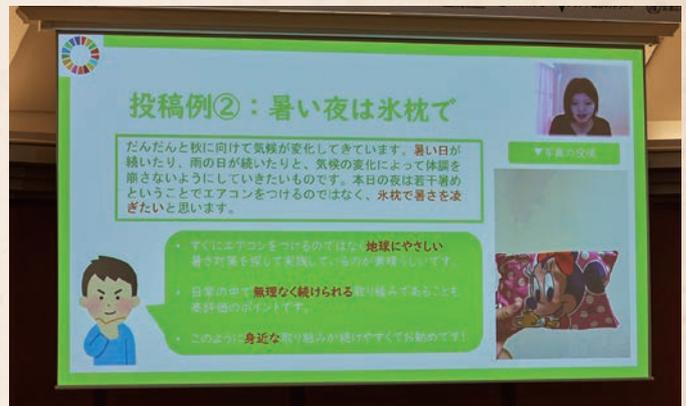
## SDGs ポイント

## 明星大学(経営学部)SDGsポイント事務局

〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1

☎042-591-6438 <https://www.meisei-u.ac.jp/2021/20210827p1.html>

明星大学が掲げる「明星大学教育新構想」に基づく事業として、「SDGsに関するポイントプログラムを通じた学生体験と社会訴求」を行っています。本プログラムは、SDGsに焦点を絞った、大学における自発行動型のポイントプログラムです。学生が実践したSDGsの取り組みをスマートフォンなどから投稿し、認定されると「SDGsポイント」を日単位で付与し、1ヶ月～半年のポイント数で評価し、上位者を表彰します。



## 受賞者コメント

沢山の方に当日投票して頂き、誠にありがとうございました。全体での最初の発表のみならず、受賞式でも最初に賞を頂き、歓喜のあまり、画面越しですが嬉しさが爆発しました！2021年9月から取り組みを始めて約半年になりますが、このような大きな場で受賞できたことは、今後の励みになり、嬉しい限りです。事務局の責任教員(安岡寛道)のみならず、当日の発表を一緒に行った事務局の学生(今井詩央里、西村爽)を始めとして、本取り組みに参加・投稿してくれた学生(発表時約150人)など、関係者皆の受賞です。これからも明星大学のSDGsの取り組みが評価されるよう、尽力していきたいと思っております。

## 審査方法

今回のプログラムは、全てオンライン(WEB上)でのリアルタイム配信となり、オーディエンス賞をWEBにて投票して頂きました。当日は173件のWEB投票の結果、上位2団体が「オーディエンス賞」として決定いたしました。

あなたの1票で決まる!! WEB投票実施決定!!

マクドナルドオーディエンス賞は視聴者の皆様の投票により、受賞団体が決定します!

## WEB投票結果 ランキング!

順位	団体名称
1	明星大学(経営学部)SDGsポイント事務局
2	前田道路株式会社 西関東支店 川崎営業所
3	横浜市青葉区 堀之内地区まちづくり協議会
4	森と子ども未来会議
5	株式会社竹中工務店

## ファイナリスト紹介

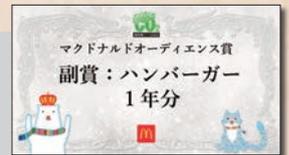
企業・  
自治体部門

### マクドナルドオーディエンス賞

#### まえた TEQ, まえたパークによるグリーンインフラの整備

前田道路株式会社 西関東支店 川崎営業所

〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地3-12-13  
☎03-5487-0031 <https://ssl.maedaroad.co.jp/>



老朽化した建物を取り壊し、外構の一部としてこれまでの駐車場と一体的に外構整備を行いました。外構整備に伴い、「まえた TEQ」と命名し、グリーンインフラの取組として舗装材や雨水貯留槽を活用した環境対策工法施設を設置し、ヒートアイランド現象等の環境問題について部外者も学べる場としました。また敷地の一部は「まえたパーク」として地域住民に開放し、雨水利用などが体験できる施設づくりを行いました。



#### 受賞者コメント

この度は脱炭素チャレンジカップ 2022 のファイナリストに選定頂き、また名誉あるマクドナルドオーディエンス賞も受賞させて頂き、誠にありがとうございました。多くの方々に、当施設での取組みに共感いただけたことは大変光栄な事です。まえた TEQ・まえたパークは、憩いの場所だけではなく、雨水利用や環境工法など脱炭素への取組みについて、来て見て触って体験できる施設として整備しました。近隣の小学校や自治体と協働し、今後も地域の皆さんと共に脱炭素社会を推進していきます。

おめでとうございます！



## ファイナリスト紹介

企業・  
自治体部門

## 審査委員特別賞

## バイオガス発電施設を中心としたリサイクルシステムの確立に向けた取り組み

## 東北おひさま発電株式会社

〒993-0002 山形県長井市屋城町7番1号  
☎0238-87-4157 <http://tohoku-ohisama.co.jp/>

米沢牛飼育事業者から発生する牛ふんの量は1日に約 25t にも及び、堆肥化して牧草地等に散布するだけでは追い付かず、根本的対策が必要となっていた。弊社はこの問題を解決するべくメタン発酵発電施設を建設し、肉用牛ふんを主原料、食品残渣を副原料として使用するほか、発生した液肥を肥料として周辺採草地に散布するといった食品リサイクルループを構築し、資源循環型社会の形成や温室効果ガスの削減に取り組んでいる。



## 審査コメント

畜舎と発電所を直接パイプラインでつなぐ設計で、それまでメタン発酵には向かないと言われた肉牛ふんを活用したバイオガス発電です。5年に及ぶ挑戦の結果、安定したバイオガス発電と地域の循環型農業を実現する取組として大きく評価されました。さらに事業者の参画が増えていることも含め、この取組がモデルとなり他の地域に波及していくことを期待しています。

審査副委員長 尾山 優子

## 受賞者コメント

弊社の取り組みを高く評価いただきましたこと、大変光栄であり心より感謝申し上げます。当地域の特産品である米沢牛の肥育によって生じた牛ふんについて、「如何に環境負荷を軽減し、また、エネルギーや肥料として再利用するか」を、畜産農家・町と一体となって考え、取り組みを進めてきました。ながめやまバイオガス発電所パイプラインによる牛ふんの移送等により、臭気の軽減及び牛ふん処理作業の軽減に若干でも寄与できたのではないかと思います。今後は、液肥の有効利用について、更に検討を重ねていきたいと思ひます。

## ファイナリスト紹介

学生部門

優秀賞

### プラスチックゴミとCO<sub>2</sub>の削減～捨てればゴミ、活かせば資源～

#### 大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程

〒590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町12-1  
☎072-241-1401 <http://www.osaka-c.ed.jp/sakai-t/tei/>

自然災害が多発している昨今、CO<sub>2</sub>削減、地球温暖化防止のために、環境のことを考え、私たちは「バイオディーゼル発電機」（不要な油を使って電気を作る発電機）を製作した。さらに、プラスチックゴミを入れると油が出来る「プラスチックゴミ油化装置」も製作した。油化装置で出来た油を「バイオディーゼル発電機」に入れると電気が出来る。すなわち、不要なプラスチックゴミを用いて電気を作ることが出来る。



ジュニア・キッズ部門

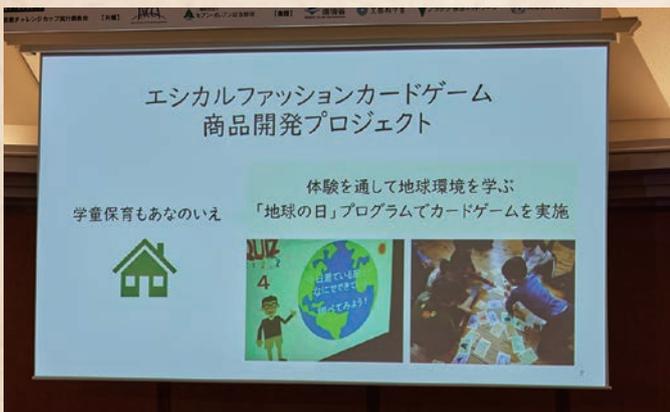
優秀賞

### エシカルファッションカードゲームの商品開発プロジェクト

#### 特定非営利活動法人もあなキッズ自然楽校

〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央1-39-1  
☎045-342-8389 <https://moanaearthvillage.com/>

学童「もあなのいえ」では、2020年より「地球の日」プログラムにて、地球環境や服の裏側を知る機会を定期的に提供してきた。子どもたちが楽しみながら理解を深めるために試作したカードゲームを、より多くの人に知ってもらうために商品化する。10歳以上を対象に、ファッション産業の背景を知り、自分たちの消費活動が与える影響を理解する機会提供を目的とした、カードゲームを製作、販売する。



## ファイナリスト紹介



市民部門

優秀賞

## 自然と共生する都市型小水力発電による脱炭素社会の学び場づくり

特定非営利活動法人 PVネット兵庫グローバルサービス

〒657-0068 兵庫県神戸市灘区篠原北町3丁目9-3

☎078-861-2530 <http://pvnethyogo.g2.xrea.com/PV-NetRokusui.html>

神戸市内の「水車新田」の地名が残る地域において、理事長が10年前より構想として温めていた小規模水力発電設備の設置計画を具体化し、種々の調査や許認可機関への諸手続きを経て、2021年4月より発電を開始した。年間の発電量は126,000kWhを想定しており、これによるCO<sub>2</sub>削減見込みは、36,540kg-CO<sub>2</sub>/年となる。設備設置場所は山林内にあり、里山化すべく、定期的に整備活動を実施している。



市民部門

優秀賞

## 気候変動に負けない「い〜稲」の開発プロジェクト

横浜市青葉区 堀之内地区まちづくり協議会

〒227-0065 神奈川県横浜市青葉区恩田町1165-98

近年、発生する台風は気候変動などの影響もあり、その勢力は増し稲作への被害も大きくなっています。秋の台風は稲作にとって、米の収穫時期と重なることも多く、ひとたび稲が倒れ長時間雨水に稲が浸かると商品価値が低下するなど、場合によっては売り物にならない状況であり農業にとって大きな課題となっています。まちづくり協議会では、台風でも倒れにくい「強い稲」の開発について取組みを行っています。



## ファイナリスト紹介



市民部門

優秀賞

### フルクル (古着リサイクルプログラム)

特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン

〒151-0071 東京都渋谷区本町3-48-21 新都心マンション303  
☎03-3372-9777 www.baj-npo.org

2011年より衛生関連企業(日光物産)と協同してフルクル事業を開始。一般家庭や企業、グループなどが集めた古着や靴などについて日光物産が買い取り、重量の一定割合をBAJに寄付。買取った古着は海外(東南アジア・中東など)で販売して再利用。またウエスなどに再活用。BAJは全国の社会福祉協議会などにチラシを配布したり、企業や事業所などに呼び掛けてイベントなどで古着回収を進めている。



企業・自治体部門

優秀賞

### 社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」

株式会社クラダシ

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-2-1 目黒センタービル5階  
☎03-6456-2296 <https://www.kuradashi.jp/>

「KURADASHI」は、賞味期限切迫、納品期限切れ(1/3ルール)、季節商品など様々な理由で廃棄の対象となってしまった商品をメーカーから買い取り、インターネット上で消費者にお手頃価格(最大97%オフ)で販売。フードロス発生を大幅に削減し、CO<sub>2</sub>排出を削減しています。また、売上の一部をNPO等社会貢献活動団体へ寄付する仕組みを構築し、環境保護や医療支援などの社会課題の解決に貢献しています。



ファイナリスト紹介

企業・自治体部門 優秀賞

「リサイクル&新電力」で見えてきた脱炭素→「あんこうぱわあ」

あんこうぱわあ株式会社

〒319-1546 茨城県北茨城市磯原町大塚1491-2  
☎0293-42-0903 hajiem-clean.com、ankoupower.co.jp

「環境に配慮した地域密着型ゴミ収集運搬業者」元クリーン、その歴史と事業内容、今後目指していく取組。「電気で未来のまちづくり」あんこうぱわあ、電気の地産地消と電気料金の一部地域還元を目指すこれからの取組。



地域発! 脱炭素な取組! 活動団体データベース

「地域発! 脱炭素な取組! 活動団体データベース」には、これまで脱炭素チャレンジカップ(旧低炭素杯)に参加された団体のプロフィールが掲載されています。また、脱炭素チャレンジカップをサポートする企業と連携して取組を実施している団体の情報が検索できます。地域で脱炭素化の社会に向けて活動している企業や団体の情報が満載ですので、ご活用ください。



トップページでは、「活動拠点・エリア」「団体区分」「活動ジャンル」「関連するSDGs」で検索ができます。



登録団体の概要のページ



登録団体のプロフィールページ



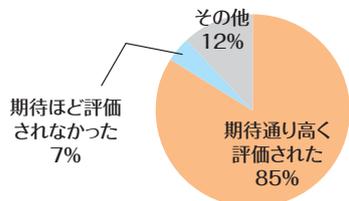
ご協力ありがとうございました！



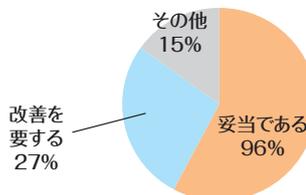
## アンケート結果

### ファイナリストの声

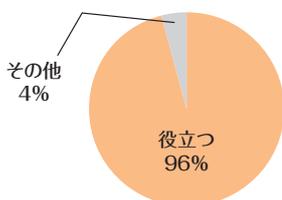
Q. 貴団体がファイナリストに選ばれたことは周囲でどのように評価されましたか？



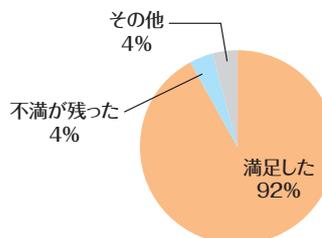
Q. ハイブリット開催(会場とオンラインの同時)について



Q. 今回の脱炭素CCの出場は、貴団体の今後に役立つと思われますか？

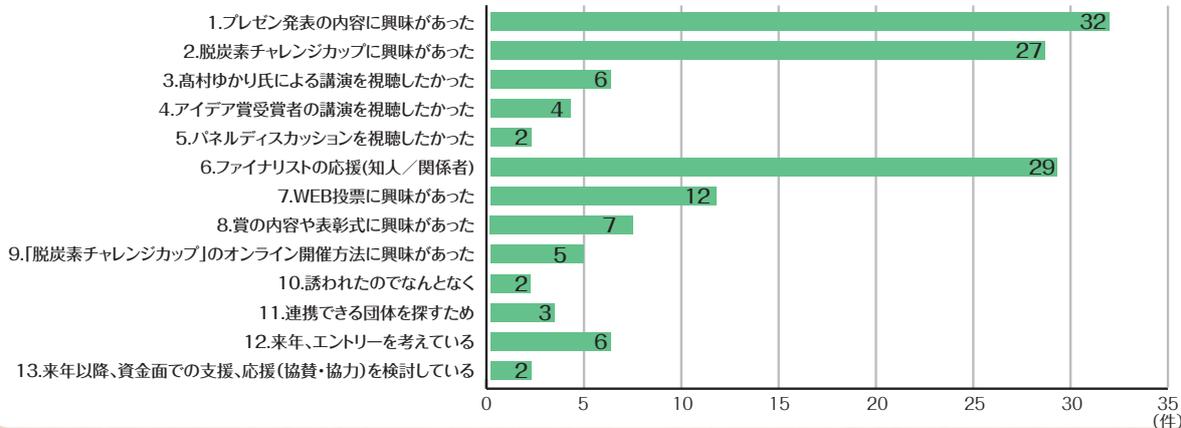


Q. 事務局スタッフの対応について

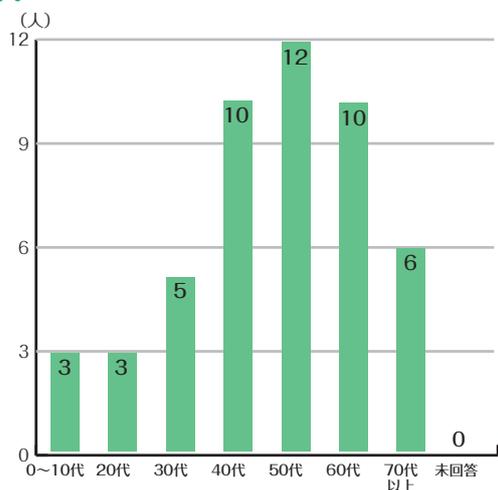


### 参加者の声

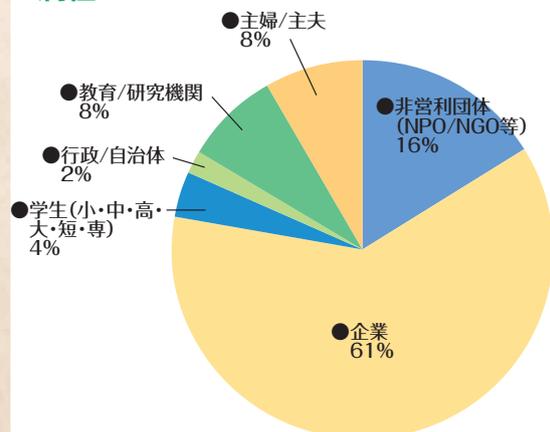
#### 来場目的(複数回答)



#### 年代



#### 属性



## ご協力いただいたみなさまのご紹介

## “アンバサダー”として、脱炭素チャレンジカップを盛り上げて頂きました！

アンバサダー専用ロゴ

これまで前身の低炭素杯と脱炭素チャレンジカップに出場したことがあり、本取組に“愛”があふれ、自身の活動フィールドを生かしながら、草の根的に広めて頂くことを目的に、2017年よりアンバサダー制度を実施しています。今年度は6名の方に、脱炭素チャレンジカップアンバサダーとして活躍していただきました！



● 元 栃木農業高等学校 教諭  
小森 芳次 様

当大会は、世代を超え脱炭素社会構築を目指し、全国各地の多種多様の優れた活動を発表する場です。私達、栃木農業高校は、豊かな地域資源の保全・生活文化の復活継承に取り組んだ結果、低炭素杯2012、2013の全国大会にて2年連続環境大臣賞グランプリを受賞させていただきました。

この大会で得られた世代間連携・地域おこし活動などの体験報告は、卒業後、社会人として「生きる力」を育む原動力となっています。



● ファインモーターズスクール 広報チーム  
齊藤 千絵 様

脱炭素チャレンジカップのゆるっとした温かい雰囲気が好きです。私は2016年の低炭素杯でエコドライブを様々な世代に啓発する内容を発表し、文部科学大臣賞を頂きました。その後はアンバサダーとしてゲスト審査員や当日受付のお手伝いしています。会場には洗練されたアイデアを持った様々な地域や世代の方が集まります。世の中にまだ知られていない取り組みも沢山あって、まさに宝箱のような大会だと思います。そんな脱炭素チャレンジカップをもっと多くの人に知ってもらいたいです。



(写真右、左は五箇先生)

● ホタルネットワークmito  
高橋 克英 様

気さくで良い人たちがたくさんいる低炭素杯。2017年に「ホタルネットワークmito英宏ecoスクールプロジェクト」で寸劇を交えて披露した結果、環境大臣賞金賞をいただきました。その後も会場に足を運び、脱炭素チャレンジカップ2020では講演された憧れの五箇公一先生とパネルディスカッションに同席、低炭素杯をきっかけに「セブンの森づくり」に発展した取り組みを発表させていただきました。大学生になり、アンバサダーとしてまたこの場所に戻ってきたことに感謝しています。大会をさらに広げて仲間を増やしていけたらと思います。



● FMおとくに 事務局長  
木本 直樹 様

昨年に続いてプレゼンテーションはオンラインとなりましたが、今回は会場のスクリーンを通じて日々地域で活動する皆さんのお姿を拝見し、全国の皆さん、大会関係者の皆さんとの繋がりを実感できた大会でした。気候変動はこれまでに経験したことのない大規模な台風や豪雨など、私たちの暮らしに与える影響は大きくなり、地域紛争や戦争など人間のエゴも表面化しています。緑豊かな地球を次世代に引き継ぐため、地域活動の輪が広がることを願っています。微力ながらラジオでの情報発信のお手伝いをさせていただきます。必要であればご連絡お待ちしております。



● エコドライブ研究所 代表  
福田 慎太郎 様

私の大好きな低炭素杯。脱炭素チャレンジカップに変わってからもアットホームで温かみのある雰囲気は変わりません。それはオンライン開催になっても同じです。2014年の初ファイナリストから、3度目の正直で文部科学大臣賞を頂き、その後もずっと関わらせていただいているこの大会。今年もアンバサダーを務めさせていただきます嬉しく思っています。これからも脱炭素社会を目指す皆さまと一緒に大会を盛り上げていければ幸いです。さあ、みなさんもエコドライブで脱炭素に向かいましょう。



● 逆川子どもエコクラブ クラブメンバー  
小島 大知 様

始めて低炭素杯に出場したのは小学4年の2017年、学校の裏手にある耕作放棄地を再生した発表でした。その後、2018年にワイズユースを学びらムサールネイチャーガイドに登録、2019年に茨城県地球温暖化防止活動推進センターのエコカレッジを受講して温暖化や気候変動、SDGsやESGなどを学び、国内最少年の地球温暖化防止活動推進員に任命されました。脱炭素チャレンジカップとなった2020年は、「地域を超えたこともたちのSDGs」を披露させていただきました。大会を通じ、脱炭素の輪が広がることを期待します。

## “協力団体”として広報面・当日のスタッフとしてもご協力いただきました！

子どもエコクラブ全国事務局  
(公益財団法人 日本環境協会)

子どもエコクラブとは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブで、現在約1,700クラブ、約9万人の子どもたちが全国で活動しています。

「ジュニア・キッズ部門」への子供たちの応募を促進するべく、子どもエコクラブに協力いただき、登録クラブにエントリー募集の声がけをしていただきました。今回は、ファイナリストの中で3団体が子どもエコクラブの登録/関係団体でした！



自動車教習所  
ファインモーターズスクール

ファインモーターズスクールは、低炭素杯に何度も出場、受賞している常連団体で、免許取得の際に自然とエコドライブが身につく「楽エコ教習」を軸に、小学校でのエコドライブ寸劇や、自治体職員向けのエコドライブ指導者養成など、多様な取り組みを通じて「エコドライブ」の普及を行う自動車教習所です。今年度は当日に、受付スタッフとして、事務局と一緒に汗を流していただきました！





## 脱炭素チャレンジカップへの寄付にご協力いただきました

全国各地の多種多様な方々の優れた取組を広く伝え、交流・連携を図る場である「脱炭素チャレンジカップ」は、前身の低炭素杯を含めた12年間に、全国から数千団体にご応募いただき、計414団体を超えるファイナリストがステージ上で自らの取り組みを発表しています。

参加者同士の新たな共同事業展開という嬉しい成果も生まれています。この動きをさらに進化させ「脱炭素チャレンジカップ」を持続して開催していく為には、想いに賛同・共感してくださる皆様のサポートが必要です。今年度は以下の皆様方にご寄付をいただきました。

### ～直接寄付をいただいたみなさま～

・小宮山 宏 様 計 100,000円

### ～古本募金に参加いただいたみなさま～

このたび、本やDVDなど使い終わったものをリサイクル換金して寄付できる「古本募金(きしゃぼん)」を実施し、皆さまから古本募金でのご寄付をいただきました。

計13,272円

皆様から頂いた協賛・寄付金はファイナリストプレゼンテーションに係るオンライン設備費用や、会場費等の運営資金に大切に使用させていただきます。是非とも来年の「脱炭素チャレンジカップ」開催のため、引き続きご支援をお待ちしています!

## 支 援 方 法

### ■ 協賛する

「脱炭素チャレンジカップ」ウェブサイト上の申し込み用紙をダウンロードし、申込用紙を事務局メールアドレス [zccc@zenkoku-net.org](mailto:zccc@zenkoku-net.org) 宛にお送りください。その後事務局より手続きのご連絡をいたします。

#### 10万円コース

特典

脱炭素チャレンジカップのオフィシャルホームページと配布チラシへのロゴ又は社名掲載および、脱炭素チャレンジカップのロゴのご活用

#### 50万円コース

特典

10万円コースの特典にプラスして、御団体名を冠した賞を新設

### ■ 寄付する

随時、受付をしております!

特典

報告書やウェブサイトにお名前を掲載、報告書の送付

ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)  
当座 0791958  
ダツタンソチャレンジカップジムキョク  
脱炭素チャレンジカップ事務局

### ■ セブン-イレブン店頭募金箱に募金する

共催のセブン-イレブン記念財団は、全国のセブン-イレブン店頭へ寄せられたお客様からの募金と、(株)セブン-イレブンの寄付金とを合わせて、環境をテーマにした市民活動や自然環境保護保全活動を支援しています。その募金の一部は「脱炭素チャレンジカップ」へも協賛されます。

### ■ 古本募金で寄付する～0円で寄付しよう～

脱炭素チャレンジカップでは本やDVDなど使い終わったものをリサイクル換金して寄付できる、「古本募金(きしゃぼん)」を実施しています。皆様に負担いただく費用は0円です!本を5冊以上集めて「脱炭素チャレンジカップ きしゃぼん」を検索し、申し込みフォームに則って入力すれば手配完了です。ご希望の日程に本の集荷業者が参ります。



ご寄付! お待ちしております。



## 各大臣賞 ！ 受賞企業・団体に現場訪問

環境大臣賞を受賞されました企業・団体の現場へ、地域地球温暖化防止活動推進センターのスタッフと共に、視察させて頂きました。現場に触れると共に、現場担当者との意見交換や質疑応答を通じ、脱炭素化に向けての優良な取組として、今回は4団体をご紹介します。

### 環境大臣グランプリ 松隈地域づくり株式会社

今回グランプリを受賞されました松隈地域づくり株式会社(佐賀県神埼郡)が運営する松隈式の小水力発電所の施設を視察しました。住民で出資して株式会社を設立し、以前から松隈地区にあった小水力発電所を活用して、地形の特徴を取り入れながら、新たに建設されました。売電事業での収益は、持続可能な集落を維持する財源として、農地管理や特産品の創出、レクリエーション等で地元へ還元される地域での循環システムです。また、小水力発電佐賀モデルとして情報を提供し、今後の小水力発電導入拡大にも寄与しておられ、この取組が全国に展開されることに期待します。



### 環境大臣金賞(ジュニア・キッズ部門) ECO HONU

環境大臣賞金賞(ジュニア・キッズ部門)を受賞されましたECO HONU(沖縄県南城市)を訪問させて頂きました。実際に活動を行っている砂浜へ行って、一緒に参加してきました。海底山噴火の軽石や、様々な国の文字が入った漂着物がありました。特にたばこのフィルターが多かったです。また、回収物を記録しデータ化することで、種類や原産国等を見える化して、情報発信しています。取組の始まりは、コロナ禍で休校となり、砂浜で宝物を探していたらゴミが沢山あることに驚き、ゴミ拾いが日課となりました。身近な海を大切にしたいという思いが深まり、これから部員も増える予定とのこと、活動の発展に期待します。



### 環境大臣金賞(企業・自治体部門) 株式会社竹中工務店

環境大臣賞金賞(企業・自治体部門)を受賞されました株式会社竹中工務店(東京都江東区)に訪問させて頂きました。中高層木材建築物のフラッツウッズ木場で最先端の技術についてお話をお伺いしました。竹中工務店は森林ランドサイクルと言う活動を始めています。これは竹中工務店一社だけではなく、山主の方、製材業者、建物を発注頂く発注者の方、木の研究者等、多くのステークホルダーの皆さんと達成できるものです。今回の受賞をきっかけに、さらに様々なステークホルダーへも活動を広めていきたいとのことでした。今後の展開が楽しみです。



### 環境大臣金賞(市民部門) NPO法人Class for Everyone

環境大臣賞金賞(市民部門)を受賞されましたNPO法人Class for Everyone(神奈川県相模原市)に訪問させて頂きました。相模湖畔にある事務所にてお話を伺いました。電気を創るということを通じて、日常自分が使う電気がどれくらい測れるようになって欲しいとのこと。ソーラーで生みだせる電気に対して、使っている電力量が非常に多く、世界の情勢などによってエネルギー供給状況が変わり、日本にも影響することを肌感覚で知ることが大切です。自分たちの生活に必要なエネルギーを考えることによって、その先に脱炭素社会の実現があると言われていました。現在、炭の蓄電池の開発を事業行っているようで、今後の展開に期待です。



## これまでの歩み

### 脱炭素チャレンジカップ2021

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 モリショウグループ(大分県)  
 「木質バイオマス発電を核としたSDGsへの取り組み」



- 開催日：2021年2月9日(火)
- 会場：東京ウイメンズプラザ  
(オンライン配信)
- 総エントリー数：144件
- ファイナリスト数：28件

### 脱炭素チャレンジカップ2020

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 NPO法人田舎のヒロインズ(熊本県)  
 「農村地帯でのRE100化を目指す女性農家たちの挑戦」



- 開催日：2020年2月19日(水)
- 会場：伊藤謝恩ホール
- 総エントリー数：183件
- ファイナリスト数：28件

### 低炭素杯2019

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 姫島エコツーリズム(大分県)  
 「エコアイランドと地域活性化を目指した超小型EVの活用」



- 開催日：2019年2月8日(金)
- 会場：カルッツかわさき
- 総エントリー数：1,425件
- ファイナリスト数：28件

### 低炭素杯2018

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 岩手県立遠野緑峰高等学校(岩手県)  
 「ポップ和紙開発プロジェクト」



- 開催日：2018年2月15日(木)
- 会場：日経ホール
- 総エントリー数：1,170件
- ファイナリスト数：30件

### 低炭素杯2017

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 佐賀市上下水道局 下水プロジェクト推進部(佐賀県)  
 「昔に帰る未来型 ～佐賀市上下水浄化センターを「宝を生む施設」に～」



- 開催日：2017年2月16日(木)
- 会場：日経ホール
- 総エントリー数：951件
- ファイナリスト数：26件

### 低炭素杯2016

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 しずおか未来エネルギー株式会社(静岡県)  
 「静岡発!!みんなで創る地域発電所」



- 開催日：2016年2月16日(火)・17日(水)
- 会場：日経ホール
- 総エントリー数：1,993件
- ファイナリスト数：38件

### 低炭素杯2015

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 下川町(北海道)  
 「地域資源“森林”を活用したエネルギー自給型小規模自治体モデルの構築 ～誰もが暮らしたいまち、誰もが活力あるまち～」



- 開催日：2015年2月13日(金)・14日(土)
- 会場：東京ビッグサイト国際展示場
- 総エントリー数：1,730件
- ファイナリスト数：39件

### 低炭素杯2014

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 株式会社ウジエスーパー&株式会社ウジエクリーンサービス(障害者特例子会社)(宮城県)  
 「『エコガニックwithノーマライゼーション』食品スーパーが提案する環境ループ事業」



- 開催日：2014年2月14日(金)・15日(土)
- 会場：東京ビッグサイト国際展示場
- 総エントリー数：1,620件
- ファイナリスト数：41件

### 低炭素杯2013

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 栃木農業高等学校 村おこしプロジェクト班(栃木県)  
 「麻の郷とちぎの環境資源を次世代に」



- 開催日：2013年2月16日(土)・17日(日)
- 会場：東京ビッグサイト国際展示場
- 総エントリー数：1,371件
- ファイナリスト数：40件

### 低炭素杯2012

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 栃木農業高等学校 地域おこしプロジェクト班(栃木県)  
 「守れヨシの湿原、とりもどせ農村のヨシ作り」



- 開催日：2012年2月18日(土)・19日(日)
- 会場：東京ビッグサイト国際展示場
- 総エントリー数：108件
- ファイナリスト数：41件

### 低炭素杯2011

● 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
 環境NPOオフィス町内会(東京都)  
 「森の町内会(新たな仕組みによる干ばつ促進と森林のCO<sub>2</sub>吸収)」



- 開催日：2011年2月5日(土)・6日(日)
- 会場：東京大学安田講堂
- 総エントリー数：70件
- ファイナリスト数：47件



共催 一般財団法人  
セブン-イレブン記念財団

特別協賛 unicharm ユニチャーム ニトリ NITORI いのちをつなぐ SARAYA

協賛 一般社団法人 日本WPA Japan Waterless Printing Corporate Association ユタコロジ株式会社 新田ゼラチン Connect and Create

公益財団法人 SOMPO環境財団 WasteBox checkfield チェックフィールド株式会社 脱炭素化支援株式会社 2 東部燃焼株式会社 ホタルネットワーク mito 株式会社森久

有限会社 アルファサービス 株式会社 アクトリー i3 experience 北越コーポレーション株式会社

Pure Cycle いばらき DAIFUKU 株式会社 リサイクルパーク 産業資源循環施設 eco2 株式会社 エコツエー技術研究所 HAJIME CLEAN Mito Yakult

株式会社 TSS 株式会社 大丸製作所 ジーエスケー茨城 Rotary 水戸さくら ロータリークラブ マツミ・ジャパン

協力 alterna Weather Gaster Network 気象キャスターネットワーク 木原木材店 北埼玉木材加工センター どもエコクラブ Ape motor school よろこびがつく世界へ KIRIN

社会福祉法人 幸仁会 川本園 エコドライブ研究所 Institute of Ecodrive Consulting

後援 環境省 Ministry of the Environment 文部科学省 プラチナ構想ネットワーク 国連広報センター



## お問い合わせ先

脱炭素チャレンジカップ事務局  
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-9-12  
九段ニッカナビル7階

TEL: 03-6273-7785 FAX: 03-3263-1010

E-Mail: zccc@zenkoku-net.org

Web: <https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>



この印刷物は、FSC®認証紙を使用し、「水なし印刷」で印刷しています。また、省資源化(フィルムレス)に繋がるCTPにより製版しています。

